

令和7年度第1回伊賀地域高等学校活性化推進協議会

令和7年8月5日

配 付 資 料

- 令和7年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会委員名簿・・・・・・・・・・ P 1
- 伊賀地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・ P 2
- 【資料1】 令和6年度第3回伊賀地域高等学校活性化推進協議会の概要・・・ P 3
- 【資料2】 伊賀地域の高等学校の学科・コースについて（令和7年度）・・・ P 6
- 【資料3】 伊賀地域の県立高等学校の特色（各学校より）・・・・・・・・ P 7
- 【資料4】 伊賀地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況・・・・ P 14
- 【資料5】 伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況・・・・・・・・ P 15
①令和7年度、②令和6年度
- 【資料6】 各高等学校の入学者の出身中学校・・・・・・・・・・ P 17
- 【資料7】 伊賀地域の県立高等学校への入学状況の推移【北部・南部】・・・ P 18
- 【資料8】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（5カ年比較）・・・・・・・・ P 19
- 【資料9】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（北部・南部）・・・・・・・・ P 20
①令和7年3月卒、②令和6年3月卒
- 【資料10】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況の推移①人数、②割合・・・ P 22
- 【資料11】 令和7年度の協議について・・・・・・・・・・ P 24
- 【資料12】 伊賀地域の中学校卒業人数の推移と予測（含社会増減）・・・・・・・・ P 26
①市別、②北部・南部別
- 【資料13】 伊賀地域の中学校卒業人数と県立高等学校入学定員の推移・・・ P 28
- 【資料14】 令和22年度までの伊賀地域の県立高等学校（全日制）の
総学級数と当協議会の協議について・・・・・・・・・・ P 29
- 【資料15】 全日制高等学校の設置学科と学級数の推移①伊賀市、②名張市・・・ P 30
- 【資料16】 伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて（令和8年度）・・・ P 32
- 【資料17】 伊賀地域の専門学科と総合学科の学び・・・・・・・・・・ P 33
- 【資料18】 伊賀地域の県立高校に関するアンケート結果について・・・・・・・・ P 34
- 【資料19】 学校規模と教育環境の関係について①教員数、②部活動・・・・ P 41
- 【資料20】 伊賀地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等・・・・・・・・ P 43
- 【資料21】 15年先を見据えた地域の県立高校の学びと配置のあり方・・・・ P 45
- 【別添資料】 令和5年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ
（令和6年2月）・・・・ 別冊
- 【別添資料】 県立高等学校活性化計画（令和4年3月）・・・・・・・・ 別冊

令和7年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会 委員

No	区 分	所 属 等	名 前	
1	学識経験者 (1名)	三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 准教授	か とう たか や 加 藤 貴 也	継続
2	有識者 (4名)	上野都市ガス株式会社 取締役保安工務部長	にし がき ひろ なお 西 垣 浩 尚	継続
3		中外医薬生産株式会社 管理本部総務管理室 室長	かみ で ゆう こ 上 出 優 子	継続
4		株式会社アサネットワーク 代表	い しゅう もと ゆき 伊 集 基 之	継続
5		オキツモ株式会社 経営管理部総務課長	か とう こう し 加 藤 幸 司	継続
6	市教委教育長 (2名)	伊賀市教育委員会 教育長	さわ だ つよし 澤 田 剛	新
7		名張市教育委員会 教育長	にし やま よし かず 西 山 嘉 一	継続
8	県立学校長代表 (3名)	名張青峰高等学校 校長	みず もり さと し 水 守 智 士	継続
9		伊賀白鳳高等学校 校長	いま たか しげ のり 今 高 成 則	新
10		名張高等学校 校長	まつ ぎき たか ひさ 松 崎 隆 尚	新
11	小中学校長代表 (2名)	伊賀市小中学校長会 (伊賀市立阿山中学校 校長)	なか がわ ひろ はる 中 川 裕 晴	新
12		名張市小中学校長会 代表 (名張市立赤目中学校 校長)	やま もと かず ひろ 山 本 和 弘	継続
13	P T A関係者 (5名)	伊賀市P T A連合会 顧問 (伊賀市立阿山小学校P T A)	うち だ まこと 内 田 真	新
14		名張市P T A連合会 顧問 (名張市立つつじが丘小学校P T A)	はや かわ み え 早 川 美 恵	新
15		伊賀地区県立学校P T A協議会 会長 (上野高等学校P T A会長)	なか みち たか ゆき 中 道 教 之	新
16		伊賀市内県立学校P T A 代表 (あけぼの学園高等学校P T A顧問)	おか だ みどり 岡 田 みどり	継続
17		名張市内県立学校P T A 代表 (名張高等学校P T A会長)	あん どう み ほ 安 藤 美 穂	継続
18	教員代表 (2名)	小中学校教員 代表 (伊賀市立上野西小学校 教諭)	ふく もと しん や 福 本 真 也	新
19		高等学校教員 代表 (伊賀白鳳高等学校 教諭)	よね かわ もり ゆき 米 川 森 幸	新

計19名

伊賀地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 県立高等学校の活性化を推進し、地域社会における高等学校の特色化、魅力化を図り、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するために、伊賀地域高等学校活性化推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に協議する。

- (1) 今後の伊賀地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 施設・設備に関する事
- (3) 県立高等学校活性化推進に資する事
- (4) その他検討を要する事

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成17年7月21日から施行する。

附 則

この要綱は平成19年5月18日から施行する。

附 則

この要綱は平成19年10月2日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年1月17日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年8月29日から施行する。

附 則

この要綱は平成24年7月10日から施行する。

附 則

この要綱は平成29年9月4日から施行する。

令和 6 年度第 3 回伊賀地域高等学校活性化推進協議会の概要

- 1 日時 令和 7 年 2 月 1 7 日（月） 1 9 時 0 0 分から 2 1 時 0 0 分まで
- 2 場所 三重県伊賀庁舎 大会議室
- 3 概要

当協議会における「令和 5 年度のまとめ」や、地域の中学生・保護者へのアンケート結果など、これまでの協議をふまえ、15 年先の伊賀地域の県立高校の学びと配置のあり方を見据えながら、令和 10 年度以降に想定される当地域の県立高校の学級減への具体的な対応の方向性について協議しました。

主な意見は次のとおりです。

「検討するうえで大切な視点について」

- これまでも当地域では、その時代にあった学びを提供するために高校を統合して伊賀白鳳高校や名張青峰高校をつくってきた歴史がある。それぞれにいろいろな方の思いがあったが、一番大切なのはこれから高校生になる子どもたちに焦点をあてて考えることである。
- 科学技術の進歩は早く、最新のことを学んでもすぐに古くなってしまうこともあるため、あらためて数学や国語など基礎的な学びも大切であると感じる。時代や地域に合わせて変えていく部分と普遍的な部分は何かを考えていきたい。
- 職業系の高校においても多くの生徒が進学しており、専門と異なる分野に就職したり、将来転職したりする場合もあることから、基礎学力をしっかりとつけてくれる高校が多いほうがよい。
- 他地域へ流出する割合が高いことは当地域の課題だが、上野高校の学科改編により、地域全体としてもその割合が減ったとのことなので、地域の高校の魅力を高め、地域の子どもたちが地域で学べるようにしていくことは大切である。
- 北部と南部の行き来の便がよくないため、他地域への流出を防ぐためには、伊賀市と名張市に普通科を 1 校ずつ配置して、その中に専門学科や総合学科の学びを入れながら柔軟に対応していくのがよいのではないか。
- 学びの選択肢を維持していくため、これまでの枠組で固定的に考えるのではなく、関連性のある学科を組み合わせる新しい学科を作ることなども、検討してはどうか。
- 学びの多様性の維持も大切ではあるが、高校に通うことすらしんどい生徒、大勢の中ではないじめないが少人数なら何とか学校に来ることができている生徒など、子どもたちの個別の状況に応えていく視点も大切にして協議を進める必要がある。
- 地域の子どものニーズである多様な学びの選択肢の維持、学校行事や部活動の充実などを保障するためには一定規模の高校が必要である。その一定規模の高校の中で、多様な子どもたちの学びの保障や交通に係る課題について、どのように応えていくかを考えていくことが大切である。

- 高校の数が減ったり、学科が絞られたりすることが想定されるが、増加傾向にある外国につながるのある子どもたちや不登校を経験した子どもたちなど、多様な子どもたちを受け入れられる高校が伊賀地域にあってほしい。また、このことについては、県立高校として応えていくべきなのか、私立高校も含めて総合的に見ていくべきなのかも考えていく必要がある。
- 多様な子どもたちの学びを保障するために、単位制の全日制高校に通信制課程を併設することはできないか。全日制課程で修得した単位を生かして通信制課程に転籍して卒業し、次のステップに進むことができるとよい。
- さまざまな理由で義務教育の機会を十分に得られなかった人のための「夜間中学」と、不登校やその傾向にある人のための「学びの多様化学校」の2つの機能をもった県立の夜間中学校（みえ四葉ヶ咲中学校）が、令和7年4月に新しく津市に開校する。当地域においても、多様な子どもたちを受け入れる機能を持った高校を、何らかの形でつくっていくことも考えられる。

《具体的な学びと配置のあり方について》

- 15年先の1学年の総学級数が11～13学級と現在の約半分となるのであれば、一定規模や多様な学びを維持するために、普通科高校や専門高校といった考え方ではなく、学びをどのように残していくかを考える必要がある。例えば、尾鷲高校のように1つの高校の中にコース制の普通科と商業、工業などの専門学科を設置することも考えられる。
- 当地域の高校卒業者の進路状況をふまえると、総学級数が13学級であれば、大学進学ニーズに応えるための6学級規模の高校と、就職と専門学校などへの進学ニーズに応えるための7学級規模の高校の2校となるのではないか。
- アンケートの結果から、子どもたちは部活動や学校行事の充実を重視しており、そのために一定規模が必要であることをふまえると、総学級数が13学級であれば、この地域の高校は2～3校となるのは致し方ない。
- 15年先の学級数から考えると高校は2校となり、それをどのように配置するのかを、学びや機能と一緒に考えることが必要である。その際、どこかの高校に集約すると、既存の校風に合わせてしまうことになるので、新たな場所、校舎、制服で、全く新しい高校をつくってほしい。
- 15年先の総学級数は分かっているので、それに向かって考えていかななくてはならない。新しい校舎の新しい学校ができるのが理想である。
- 時代によって必要とされる学びや機能などのソフト面は変化するが、校舎の新築や建替えなどのハード面は10年先を見据えた計画が必要となることから、どの場所に集約するのかを早期に打ち出す必要がある。
- 当地域の中学校3年生の進路希望状況調査では、普通科の希望者数と専門学科・総合学科の希望者数が、概ね半分ずつとなっている。このことから、15年先には、普通科と職業学科をあわせもった総合高校を伊賀地域に2校配置していくのではないか。また、伊賀地域には、工業系の高等専門学校や、私立の通信制高校があることもふまえて、どのような学びが必要であるかを考えていくことが大切である。

- 専門的な学びは普通科卒業後に専門学校や大学で学ぶことも考えられるが、高校卒業後すぐに地元で就職してほしいという声もある。工業系で土木建築、情報、電子工学の3つ、商業系で調理と福祉、美容服飾の3つで6クラス、残りが普通科で7クラスと考えてみたが、就職者の割合から考えるとアンバランスであり、13学級に収めるのはかなり難しいことが分かった。
- 令和6年度の出生数を調べるとさらに減少することが分かっており、魅力ある学校とするために伊賀地域に大きな学校を1校設置することを考えていく必要があるかもしれない。その中で、どのように子どもたちの学びの選択肢を保障していくかが課題である。
- 当協議会におけるこれまでの協議をふまえて整理した「令和7年度のまとめに向けた方向性」に基づいて、次回、学級減への具体的な対応案を事務局から示していただきたい。

伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて（R7年度）

1. 全日制課程

県立

- ・上野高等学校（伊賀市） 学際探究科(160)、理数科(80)
- ・あけぼの学園高等学校（伊賀市） 総合学科(80)、
- ・伊賀白鳳高等学校（伊賀市） 機械科(35)、電子機械科(35)、建築デザイン科(35)、
生物資源科(35)、フードシステム科(35)、
経営科(30)、ヒューマンサービス科(35)
- ・名張高等学校（名張市） 総合学科(200)
- ・名張青峰高等学校（名張市） 普通科(200)、普通科【文理探究コース】(40)

私立

- ・桜丘高等学校（伊賀市） 普通科(155)
- ・愛農学園農業高等学校（伊賀市） 農業科(25) <※県外扱い>

2. 定時制課程

県立

- ・上野高等学校（伊賀市） 普通科(40)
- ・名張高等学校（名張市） 普通科(40)

3. 通信制課程

私立

- ・英心高等学校桔梗が丘校（名張市） 普通科【探究コース】(60)
- ・神村学園高等部伊賀（伊賀市） 普通科【選択登校型、全日型】(50) <※県外扱い>

4. 高等専門学校

私立

- ・近畿大学工業高等専門学校（名張市） 総合システム工学科(160) 3年次よりコース選択
(機械システム、電気電子、制御情報、都市環境)

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科など）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
【職業系】農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科など職業教育を主とする学科
【普通科系】理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科など職業系以外の専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修の旨として総合的に施す学科

○ 高等専門学校

実践的・創造的技術者を養成することを目的とした5年一貫教育（商船学科は5年6か月）の高等教育機関であり、理論だけではなく実験・実習を重視した専門教育が行われている

令和7年度 上野高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 日本一、生徒・先生がイキイキしている学校

【めざす生徒像】

伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける生徒

2 学校の特色（理数科2学級 学際探究科4学級）

本校は、126年の歴史と伝統があり、多くの卒業生が各方面で活躍しています。学業と部活動の両立をモットーに、9割を超える生徒が部活動に加入しており、東海大会や全国大会の場で活躍している部もあります。

学習面では、45分授業の利点を生かし、大学での専門的な学びの土台となる英語・数学・国語を丁寧に指導しています。生徒たちは学習意欲が非常に高く、授業後や放課後には教員へ積極的に質問したり、教室や自習室、廊下の自習机などを活用したりするなど、主体的に学んでいます。さらに、放課後や長期休暇中の課外授業も充実させ、学校全体で生徒一人ひとりの進路実現を力強く後押しします。

予測困難な社会を生き抜く力を育成するため、本校は文部科学省より「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」の指定を受けています（令和元年度より指定、現在は第Ⅱ期）。先進的な理数教育、大学との共同研究や台湾の高校生との交流といった特色ある学びを通して、理数科・学際探究科ともに、課題発見・解決能力や国際性を育む活動のさらなる充実を図っています。

（1）学科の特徴

<理数科>

最新の研究と設備を擁する大学等との連携により、生徒の学習に対するモチベーションを高めています。理数科は、理数科ミーティング（理数科1～3年生の集まり）で縦のコミュニケーションも大切にしています。また、理数科独自の行事として、本校卒業生が働いている企業や東京大学を訪問する「東京キャリアアップツアー」や、夏期休業期間に2泊3日で実施する「理数科勉強合宿」等を行っています。

<学際探究科>

学際探究科は、これまでの普通科の学びに探究的な学びを加えた、新時代に対応する学科です。試行錯誤を繰り返しながら課題解決へのアプローチや主体的な学び方を身につけ、より高い学力の習得を目指します。1学年4クラスの規模を生かし、生徒たちは横の連携を大切にしながら探究学習を深めています。また、学際探究科独自の行事として、長野県松本市を訪れ「観光」をテーマとした探究活動「信州フィールドワーク」を行い、その成果を地元伊賀地域の活性化につながる観光プランとして提案します。

（2）充実した学校生活

バス研修、体育祭、合唱コンクール、文化祭、クラスマッチ、修学旅行（2年生）等の学校行事も充実しており、クラスの仲間等と一緒に楽しい高校生活を過ごすことができます。

また、部活動（運動部10、文化部10、同好会3）も熱心に取り組んでおり、より充実した高校生活を過ごすための部活動に出会うことができます。

令和7年度 上野高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 生徒が学びがいを実感する学校
- 保護者・地域が頼りがいを実感する学校
- 教職員が働きがいを実感する学校

2 学校の特色（普通科1学級）

- 本校は、働きながら学べる夜間定時制として歴史が古く、多くの卒業生が社会で活躍しています。
- SHRが17時25分から始まり、授業は17時30分から21時00分までの1日4限授業です。2限終了後に給食があり、パン、米飯、麺類などを組み合わせた献立です。
- 学科は普通科で、3年と4年では選択科目があり、生徒は興味・関心に応じて学習に取り組んでいます。
- 少人数で一人ひとりに合ったきめ細かな指導を行っています。また「心のふれあい」も大切にしています。
- 国籍や年齢も異なる生徒が、お互いを認め合い、協力しながら一緒に学んでいます。
- 「働きながら学べる学校」として、生徒が昼間働くことを支援するとともに、ハローワーク等と連携を取りながら就職したい生徒への支援を積極的に行っています。
- 授業規律を大切にし、安心して授業に取り組める環境づくりを行っています。また、学び直しにより、基礎学力が身につく学習環境をめざしています。
- 担任や進路指導部、就職実現コーディネーターと連携し、生徒一人ひとりの希望を大切し、生徒の能力や適性に合ったきめ細かい進路指導を行っています。
- 卒業後は、就職する生徒が多いですが、四年制大学に進学する生徒もいます。授業以外の時間に補習を行うなど、個に応じた支援を行っています。
- 生徒会活動も盛んに行っています。文化祭や球技大会、ボウリング大会などのレクリエーションでも生徒の意見を反映した活動に取り組んでいます。また、バス研修旅行、修学旅行といった学校行事なども行っています。
- 通信制との併修により3年間で卒業することもできます。

本校の夜間定時制では、多くの生徒が昼間働きながら夜間に学んでいます。中学校卒業後に入学する生徒がほとんどですが、編入生や20歳を超えてから入学する生徒もいます。在籍している生徒の国籍、年齢、職業は多様であるとともに、中学校時代に不登校を経験している生徒や、もう一度高校で学び直しをしたいと入学してきた生徒など、一人ひとりの事情は異なります。そのような生徒が、違いを認め合い、お互いを励まし合って家族的な雰囲気の中で、安心して前向きに学校生活を送っています。

授業では、必要に応じて中学校の復習を取り入れるなど、わかりやすい授業展開を心がけています。ICTの活用やアクティブラーニング型の授業も多く、生徒の主体的に学ぶ態度の育成に力を入れています。

生徒の「学びたい」気持ちを大切にして、確かな学力や規範意識を身につけ、社会で活躍できる人材の育成をめざしています。

令和7年度 あけぼの学園高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「強く明るく真心で」を校訓とし、一人ひとりが、あけぼの学園高校の生徒として「自信と誇り」を持ち、地域に貢献し地域から信頼される学校

2 学校の特色（総合学科2学級）

あけぼの学園高校は、前身の伊賀高校から平成10年に校名変更、総合学科へ学科改編し28年目を迎えています。「夢を夢で終わらせない！」多様な学びを展開し、充実した学習環境や社会人講師の方々による授業等、しっかりとしたサポート体制のもと学びを深めています。

(1) 総合学科4つの系列

2年次からは4つの系列に分かれて、一人ひとりが希望する進路実現に向けて、特色ある多くの選択科目から選んで学びます。

○ 美容服飾系列

美容やメイクアップやさまざまなデザインに関する知識や技術を広く学ぶことができます。また、檀原美容専門学校通信制課程と連携し、卒業時に美容師国家試験に挑戦することができます。

○ 製菓調理系列

和菓子、洋菓子やパンづくりに関する理論や技術を学ぶことができます。

○ 情報教養系列

幅広い教養を身につけるとともに、情報化社会に対応するための知識や技術を学ぶことができます。

○ 健康福祉系列

福祉や介護に関する知識や技術、さらに健康に生きていくうえでの体力づくり等について学ぶことができます。

※ 令和8年度入学生から2つの系列（美容系列と生活教養系列）になります。

(2) 個に応じた学び（基礎学力・日本語指導）に向けた取組

3年次の就職試験等に対応できるよう、基礎学力の定着に力を入れています。必修科目の国語・数学・英語は習熟度別や少人数講座で、きめ細かな指導を行い、わかりやすい授業を展開しています。また、日本語指導を必要とする生徒は、選択科目や一部の教科で日本語指導アドバイザーや日本語教師の資格を持つ社会人講師の指導により、社会生活に必要な表現・文化の学習や日本語能力試験に取り組んでいます。

(3) 地域に学ぶ

「主体的に考えて行動し、自分の道を自分で切り開き、社会に貢献することができる生徒の育成」を目標に、総合学科の特色ある4つの系列で、「地域に学び、地域と共に、地域のためにできること」を、地元伊賀市と連携して実施しています。

フィールドワークやインターンシップ等の機会を通じ、生徒が地域を知り、魅力を感じ、そして魅力を発信する活動を通して、自分に自信を持ち、これからの伊賀地域を牽引する人へと成長することを期待しています。

(4) ICTの活用の推進

令和3年度入学生から、入学時に全員がiPadを購入し、ICT活用能力の育成や学びに向かう力の育成等に取り組んでいます。学ぶ喜びや達成感を実感できる授業を展開しています。

令和7年度 伊賀白鳳高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校
～地域の学校として、地域の子どもたちを地域で活躍できる人材に育成する学校～

【育みたい生徒像】

- ・自ら学び、判断し、行動する生徒
- ・思いやりの心と規範意識をもち社会に貢献する生徒
- ・専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒

2 学校の特色

（機械科、電子機械科、建築デザイン科、生物資源科、フードシステム科、経営科、
ヒューマンサービス科 各1学級）

（1）専門教育

- 工業・農業・商業・福祉の専門教育のノウハウを集結し、魅力ある7学科11種類の学びを通じて、3年間をととした系統的なキャリア教育を進め、卒業後は各分野のスペシャリストとして伊賀地域での活躍をめざします。
- 1年次の1学期に行う「産業技術基礎」の授業で、全ての学科・コースの学習内容を体験し、2学期から各学科・コースに分かれます。
2、3年次には、インターンシップや進路ガイダンス等のキャリア教育を通じて、自らの将来について考え、望ましい職業観や勤労観を身に付け、卒業後に社会人となるための意識を高めます。
- 前期選抜はそれぞれの学科で募集し、後期選抜は全ての学科をまとめて募集する「くくり募集」を行っています。前期選抜で入学した生徒はコースを、後期選抜で入学した生徒は学科とコースを入学後に決定します。
※ 令和8年度入学者選抜から、前期選抜はそれぞれの学科で募集し、後期選抜は、「工業系」と「農業系」でそれぞれまとめて募集する「くくり募集」を行い、経営科とヒューマンサービス科は学科で募集します。前期選抜で入学した生徒はコースを、後期選抜で入学した生徒は系列内で学科とコースを入学後に決定します。

（2）地域・企業との協働による人材育成

- 地域や企業との協働による新しい人材育成システム（伊賀版デュアルシステム）を導入し、毎週木曜日に企業や保育園等で学習を行い、職業人として社会で活躍できる人材を育てます。
- 7学科それぞれが、学科の特性を生かして地域や企業と連携した取組を行っています。学科の枠を超えた取組も多く、全学科の生徒が連携して実施する「白鳳フェス」では、各科の実習作品を展示したり、スイーツやジャム、クッキー、観葉植物、野菜など各科の学習成果を即売したりします。

（3）部活動の振興

- 伊賀地域のスポーツ・文化の拠点として、部活動の振興を図ります。

伊賀白鳳高校では興味・関心や適性にあった進路を選択し、その実現に向けて基礎学力、専門知識・技術、マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成します。部活動や各種検定・資格試験における成果や地域と連携した活動をとおして、自信・やる気を高め、地域に貢献できる生徒を育成します。

令和7年度 名張高校(全日制)の特色

1 めざす学校像

- 校訓である「自律」、「協調」、「創造」の精神を生かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校

2 学校の特色（総合学科5学級）

(1) 概要

- ・総合学科（4系列9専攻）・創立109年（総合学科24年目）・地域に開かれた学校
- ・盛んな部活動・生徒指導（あいさつ・聞く姿勢の重視）・SDGsを意識した取組
- ・Society5.0に対応する資質能力の育成のための地域連携

(2) 系列・専攻の概要 ○系列 ★専攻

○ 文理アドバンス系列

★ 人文専攻……大学進学をめざす

- ・文系大学等への進学を実現できる、確かな学力を身につけます。
- ・地域と協働し、社会の課題に取り組むことで学んだことを生かします。

★ 看護・医療専攻……医療系への進学をめざす

- ・看護・医療系大学・専門学校等への進学を実現できる力を身につけます。
- ・名張市立病院と名張市立看護専門学校の講師から直接学ぶことで意識が向上します。

○ 総合ビジネス系列

★ ビジネス専攻……企業の即戦力をめざす

- ・情報やビジネスの基礎を学び、地域や企業で活躍できる力を身につけます。
- ・名張の観光資源を題材に、地域の活性化を考えます。

★ 情報処理専攻……情報のスペシャリストをめざす

- ・情報処理や情報の活用について学び、情報化社会に対応できる力を身につけます。
- ・名張の観光資源について調査分析を行い、観光推進案を提案します。

○ 健康スポーツ系列

★ 健康スポーツ専攻……健康増進のリーダーをめざす

- ・「心」・「技」・「体」を鍛え、自立心や向上心、協調性を身につけます。
- ・健康体操教室を企画運営することで、健康スポーツ分野のマネジメントを学びます。

○ 表現デザイン系列

★ 美術専攻……日常を美で彩る

- ・造形表現の基礎となるデザイン、絵画を中心に学び、専門的な力を身につけます。
- ・校外での制作展を企画運営することで、表現の可能性を追求します。

★ 音楽専攻……音で心を豊かにする

- ・音楽知識を学ぶとともに演奏技術と自己表現力を身につけます。
- ・校内外でのコンサートの演出、会場準備など、あらゆる行程を自分たちで行います。

★ ファッション専攻……イメージをデザインする

- ・自分の表現したいものをデザインし、形にしていく技術を身につけます。
- ・製作した作品をより効果的に表現するため、校外でファッションショーを行います。

★ 映像専攻……魅せる動画を創る

- ・依頼者のニーズを的確に把握し、動画としてまとめていく企画力を身につけます。
- ・地域の商業写真家や写真映像系専門学校の講師から技術を直接学びます。

令和7年度 名張高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 校訓である「自律」、「協調」、「創造」の精神を生かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校

【育みたい生徒像】

- ・ 挨拶や身だしなみなど基本的生活習慣と社会で必要となる基礎学力のある生徒
- ・ 豊かな心と広い視野を持ち、自ら考え判断し主体的に行動できる生徒
- ・ 自他の人権と生命を尊重し、社会規範やマナーに合わせて行動できる生徒

2 学校の特色（普通科1学級）

(1) 教育理念

- 学習・生活の基礎基本を確立し、個の「自律」と社会的な「自立」能力を育成する。

◇ 具体的な取組内容

- ・ 丁寧でわかりやすい授業による基礎学力の定着
- ・ トリプルAの取組（あんしん・あいさつ・あきらめない姿勢）
- ・ 多様な生徒に対する多様な支援、サポート

(2) 名張定時制の3年戦略 ～「自律」と「自立」に向かって(R5～R7)～

- 令和5年度 「自律に向けて主体的に」
「出来ること増やし」と「コミュニケーション能力の向上」を目標に、自分や他者の良さに気づき、探究的・協働的な学びにより将来につながる社会性や人間力を高めた。
- 令和6年度 「社会参画で自立へ」
社会とのつながりを意識し、就労や協働による社会性の構築を目標に、系統的な進路指導を行うとともに、自らの適性を理解し、一人ひとりが自分らしく自立することに必要な力の育成に取り組んだ。
- 令和7年度 「自律と自立のスキルアップ」
外部機関との連携を強めながら、それぞれの多様な個性を生かし、生徒自身が学校行事や人権LHR等に主体的に参加することで、社会で生きるために必要なコミュニケーション能力を向上させることに取り組んでいる。

(3) 郷土の文化に触れる体験的・協働的な学び

1年次・・・陶芸

2年次・・・竹あかり

3年次・・・ガラス工芸

4年次・・・組みひも

総合的な探究の時間として、上記の分野について地元で活動している方々を講師としてお招きし、郷土の文化に触れるとともに、創作活動をとおして地域の方と関わりながら地元の良さや人とのつながりの大切さを学んでいる。

令和7年度 名張青峰高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

新時代をたくましく生き抜く未来人を育てる学校

2 学校の特色（普通科【文理探究コース】1学級＋普通科5学級）

（1）進路実現のための充実した進路指導

進路説明会をはじめ、生徒との個人面談や三者面談等を丁寧に行うなど、生徒一人ひとりに寄り添った進路指導を展開することで、それぞれの夢の実現をめざしています。

（2）県内最先端のICT機器を活用した最新の学び

Google For Education 事例校や文科省「DXハイスクール」の指定を受けるとともに、生成AIや3Dプリンター等を活用した学習活動を展開しています。

（3）世界とつながるグローバル教育

オーストラリア姉妹校への短期留学やオンライン交流、アメリカからの短期留学生受け入れ等を行うことで、語学力の向上だけでなく、異文化理解やグローバルな視野を身につけています。

（4）充実した学校行事と部活動

生徒会の生徒等が中心となって行う学校行事（体育祭や文化祭等）でクラス等の団結力を高めています。また、12の運動部と12の文化部があり、生徒は文武両道をめざして部活動にも熱心に取り組んでいます。

3 学科の特徴

本校は単位制普通科の学校で、国公立大学・難関私立大学から短期大学・専門学校、就職まで幅広い進路希望を実現するため、文理探究コースと未来創造コースの2コースを設置しています。

<普通科・文理探究コース>

○ 主に国公立大学や難関私立大学を希望する生徒のニーズに対応したコースで、ハイレベルな授業を行います。

- ・コース専用の教育課程を設置するとともに、ハイレベルなセミナー等により、自分が希望する難関大学等への進学をめざします。
- ・2年次からは文系と理系に分かれ、専用の科目群から自分の受験に必要な科目を選択し、より高い学びを実現します。
- ・三重大学と連携した「文理探究イノベーションプログラム」により、メタバース（仮想空間）を活用して大学生とともに地域創生について考える学習活動等を進めています。

<普通科（未来創造コース）>

○ 大学進学から就職まで幅広い生徒のニーズに対応したコースで、普通科の学習を進めながらそれぞれの進路を決定・実現するコースです。

- ・多様な進路希望に対応した選択科目群から、自分の進路に応じた科目を選択し、進路実現に向けて学習します。
- ・充実したキャリア教育により、自己の進路目標を立て、計画的に学習や活動を行うなどのキャリア形成に必要な力を身につけます。
- ・未来創造コースの生徒のみが選択できる科目もあり、情報や芸術科目のスキル向上や英語検定などの資格取得をめざす生徒のニーズにも応えることができます。

資料4

伊賀地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況

【令和7年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
上野	普通科 理数科	255	2	9	0	11	277
		92.1%	0.7%	3.2%	0.0%	4.0%	100.0%
あけぼの学園	総合学科	3	0	10	44	8	65
		4.6%	0.0%	15.4%	67.7%	12.3%	100.0%
伊賀白鳳	機械科、電子機械科、 建築デザイン科、生物資源科、 フードシステム科、経営科、 ヒューマンサービス科	35	16	55	117	0	223
		15.7%	7.2%	24.7%	52.5%	0.0%	100.0%
名張	総合学科	55	11	77	42	8	193
		28.5%	5.7%	39.9%	21.8%	4.1%	100.0%
名張青峰	普通科 普通科（文理探究コース）	168	4	38	7	12	229
		73.4%	1.7%	16.6%	3.1%	5.2%	100.0%

普通科計 （普通科系専門学科を含む）	423	6	47	7	23	506
	83.6%	1.2%	9.3%	1.4%	4.5%	100.0%
専門学科計	35	16	55	117	0	223
	15.7%	7.2%	24.7%	52.5%	0.0%	100.0%
総合学科計	58	11	87	86	16	258
	33.1%	4.3%	33.7%	33.3%	6.2%	100.0%
合計	516	33	189	210	39	987
	52.3%	3.3%	19.1%	21.3%	4.0%	100.0%

【令和6年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
上野	普通科 理数科	241	3	9	4	8	265
		90.9%	1.1%	3.4%	1.5%	3.0%	100.0%
あけぼの学園	総合学科	2	1	12	49	8	72
		2.8%	1.4%	16.7%	68.1%	11.1%	100.0%
伊賀白鳳	機械科、電子機械科、 建築デザイン科、生物資源科、 フードシステム科、経営科、 ヒューマンサービス科	26	16	46	132	1	221
		11.8%	7.2%	20.8%	59.7%	0.0%	100.0%
名張	総合学科	48	24	72	42	9	195
		24.6%	12.3%	36.9%	21.5%	4.6%	100.0%
名張青峰	普通科 普通科（文理探究コース）	170	13	39	5	7	234
		72.6%	5.6%	16.7%	2.1%	3.0%	100.0%

普通科計 （普通科系専門学科を含む）	411	16	48	9	15	499
	82.4%	3.2%	9.6%	1.8%	3.0%	100.0%
専門学科計	26	16	46	132	1	221
	11.8%	7.2%	20.8%	59.7%	0.5%	100.0%
総合学科計	50	25	84	91	17	267
	18.7%	9.4%	31.5%	34.1%	6.4%	100.0%
合計	487	57	178	232	33	987
	49.3%	5.8%	18.0%	23.5%	3.3%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業生数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況（令和7年度）

資料5①

高校名	学科・コース名	R7 入学定員	R6.12 希望者数	前期選抜等			後期選抜				再募集			合格者 総数	入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
上野	学際探究	160	210	48	198	48	112	117	1.04	112				160	160	
	理数	80	73	40	72	40	40	47	1.18	40				80	80	
	計	240	283	88	270	88	152	164	1.08	152				240	240	
あけぼの学園	総合学科	80	65	40	65	45	35	27	0.77	27	8	3	3	75	74	6
伊賀白鳳	機械	35	35	18	35	20										
	電子機械	35	13	18	14	14										
	建築デザイン	35	38	18	39	20										
	生物資源	35	24	18	22	20	110	98	0.89	96	14	10	9	235	235	5
	フードシステム	35	42	18	43	20										
	経営	30	22	15	22	16										
	ヒューマンサービス	35	30	18	30	20										
	計	240	204	123	205	130	110	98	0.89	96	14	10	9	235	235	
名張	総合学科	200	214	100	216	108	92	100	1.09	92				200	200	
名張青峰	普通	200	194	60	193	66	134	131	0.98	134				200	201	
	文理探究コース	40	36	20	36	22	18	36	2.00	18				40	40	
	計	240	230	80	229	88	152	167	1.10	152				240	241	
伊賀地域計		1,000	996	433	986	459	541	556	1.03	519	22	13	12	990	990	11

※「R6.12希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による。

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況（令和6年度）

資料5②

高校名	学科・コース名	R6 入学定員	R5.12 希望者数	前期選抜等			後期選抜				再募集			合格者 総数	入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
上野	普通	200	163				200	163	0.82	196	4	3	2	201	201	
	理数	40	76	20	74	20	20	56	2.80	20				40	40	
	計	240	239	20	74	20	220	219	1.00	216	4	3	2	241	241	
あけぼの学園	総合学科	80	74	40 4	73 0	44	36	45	1.25	36				80	80	
	機械	35	35	18	33	20										
伊賀白鳳	電子機械	35	31	18	33	20										
	建築デザイン	35	40	18	40	20										
	生物資源	35	21	18	21	18	106	109	1.03	106				241	241	
	フード・システム	35	43	18	44	20										
	経営	30	39	15	40	17										
	ヒューマンサービス	35	26	18	28	19										
	計	240	235	123	239	134	106	109	1.03	106				241	241	
名張	総合学科	200	217	100	225	108	92	102	1.11	92				200	200	
	普通	200	180	60	176	66	134	119	0.89	118	16	6	6	191	191	9
名張青峰	文理探究コース	40	34	20	34	22	18	15	0.83	15	3	3	3	40	40	
	計	240	214	80	210	88	152	134	0.88	133	19	9	9	231	231	9
伊賀地域計		1,000	979	367	821	394	606	609	1.00	583	23	0	11	993	993	9

※「R5.12希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

各高等学校の入学者の出身中学校

【令和7年4月入学】

			上野	あけぼの 学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰
設置学科等 (R7募集定員)			学際探究 (160) 理数 (80)	総合 (80)	工業 (105) 農業 (70) 商業 (30) 福祉 (35)	総合 (200)	普通 (200) 文理探究 (40)
R7.4 入学生 の 出身中学校	伊賀北部 の中学校	人	160	28	175	54	80
		%	66.7%	37.8%	74.5%	27.0%	33.2%
	伊賀南部 の中学校	人	72	24	47	130	151
		%	30.0%	32.4%	20.0%	65.0%	62.7%
	上記以外の 県内中学校	人	4	21	11	5	8
		%	1.7%	28.4%	4.7%	2.5%	3.3%
	県外の中学校 (奈良県等)	人	4	1	2	11	2
		%	1.7%	1.4%	0.9%	5.5%	0.8%
	入学者数計		240	74	235	200	241

【令和6年4月入学】

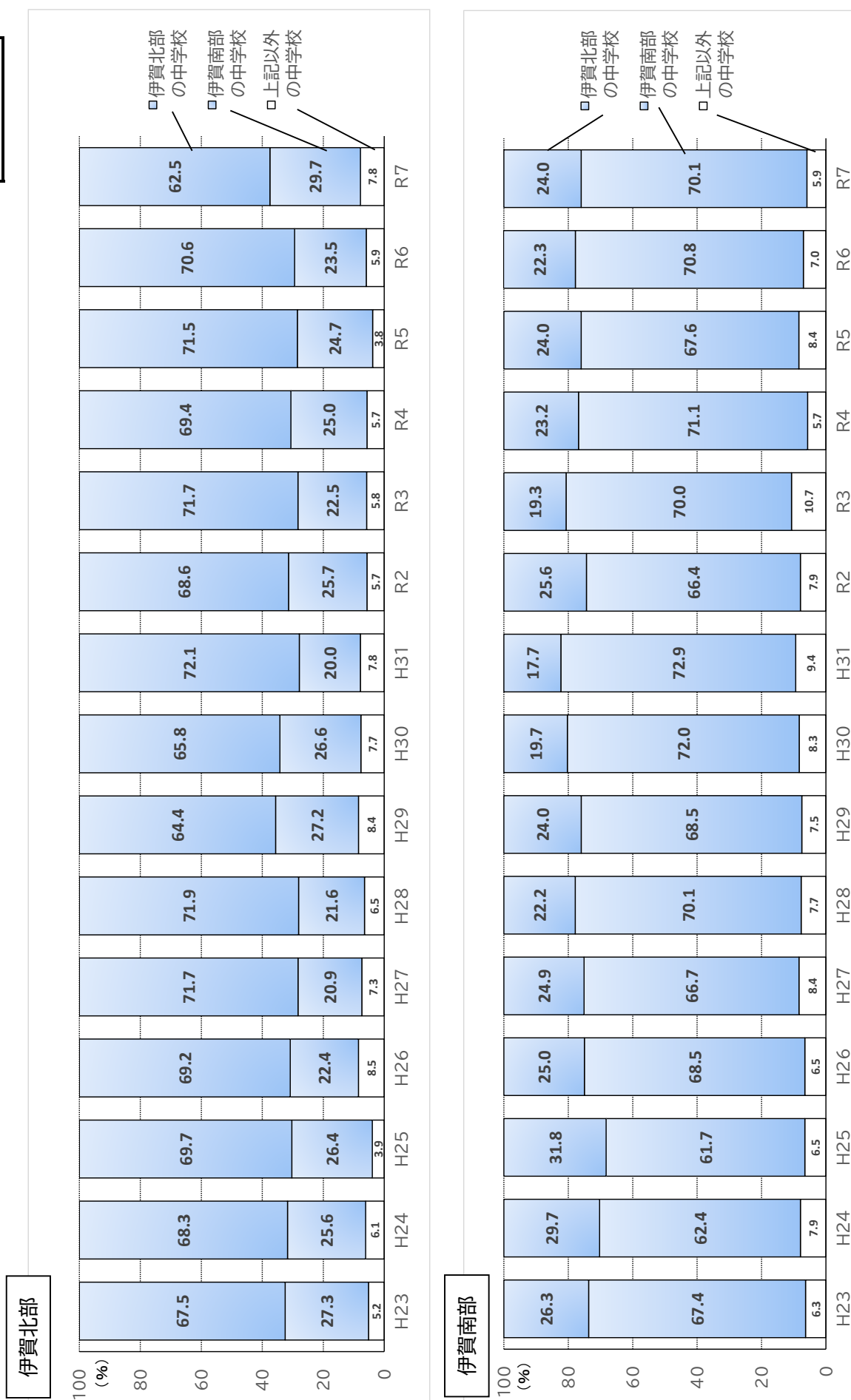
			上野	あけぼの 学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰
設置学科等 (R6募集定員)			普通 (200) 理数 (40)	総合 (80)	工業 (105) 農業 (70) 商業 (30) 福祉 (35)	総合 (200)	普通 (200) 文理探究 (40)
R6.4 入学生 の 出身中学校	伊賀北部 の中学校	人	154	45	198	42	54
		%	64.2%	60.8%	84.3%	21.0%	22.4%
	伊賀南部 の中学校	人	80	20	32	142	163
		%	33.3%	27.0%	13.6%	71.0%	67.6%
	上記以外の 県内中学校	人	4	15	7	10	10
		%	1.7%	20.3%	3.0%	5.0%	4.1%
	県外の中学校 (奈良県等)	人	3	0	4	6	4
		%	1.3%	0.0%	1.7%	3.0%	1.7%
	入学者数計		241	80	241	200	231

※ 「伊賀北部の中学校」は伊賀市の中学校から青山中学校を除き、「伊賀南部の中学校」は名張市の中学校に青山中学校を加える。

※ 「%」は、各高校の「入学者数計」に対する割合を表す。

伊賀地域の県立高等学校への入学状況の推移【北部・南部】

資料 7



伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（５カ年比較）

資料 8

区分			進路先	令和３年３月卒		令和４年３月卒		令和５年３月卒		令和６年３月卒		令和７年３月卒	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全日制	県内県立	伊賀地域	上野	260	18.8	269	19.3	238	17.5	234	17.3	232	16.9
			伊賀白鳳	229	16.6	230	16.5	230	16.9	230	17.0	222	16.2
			あけぼの学園	67	4.8	68	4.9	61	4.5	66	4.9	52	3.8
			名張	171	12.4	189	13.6	169	12.4	184	13.6	184	13.4
			名張青峰	222	16.1	226	16.2	224	16.4	217	16.1	231	16.8
			小計	949	68.6	982	70.5	922	67.7	931	69.0	921	67.1
		他地域	津	40	2.9	28	2.0	37	2.7	35	2.6	39	2.8
			津西	30	2.2	26	1.9	26	1.9	28	2.1	24	1.7
			上記以外 ※１	61	4.4	50	3.6	52	3.8	48	3.6	70	5.1
			小計	131	9.5	104	7.5	115	8.4	111	8.2	133	9.7
		県内私立	鈴鹿	4	0.3	5	0.4	11	0.8	11	0.8	7	0.5
			高田	9	0.7	8	0.6	11	0.8	11	0.8	19	1.4
			三重	19	1.4	18	1.3	16	1.2	11	0.8	8	0.6
			桜丘	7	0.5	10	0.7	1	0.1	3	0.2	4	0.3
	上記以外 ※２		10	0.7	7	0.5	7	0.5	11	0.8	13	0.9	
	小計		49	3.5	48	3.4	46	3.4	47	3.5	51	3.7	
	県外		国公立	8	0.6	8	0.6	6	0.4	8	0.6	5	0.4
		私立	62	4.5	59	4.2	54	4.0	58	4.3	46	3.4	
		小計	70	5.1	67	4.8	60	4.4	66	4.9	51	3.7	
	定時制	上野	10	0.7	13	0.9	8	0.6	13	1.0	8	0.6	
		名張	11	0.8	13	0.9	12	0.9	10	0.7	11	0.8	
		上記以外の県内	2	0.1	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0	
		山辺高校山添分校	16	1.2	3	0.2	8	0.6	7	0.5	8	0.6	
		上記以外の県外	1	0.1	2	0.1	0	0.0	0	0.0	1	0.1	
		小計	40	2.9	31	2.2	28	2.1	31	2.3	28	2.0	
	通信制	県立（北星・松阪）	2	0.1	3	0.2	3	0.2	3	0.2	1	0.1	
		英心桔梗が丘校			24	1.7	57	4.2	44	3.3	53	3.9	
		英心伊勢本校	5	0.4	11	0.8	6	0.4	12	0.9	5	0.4	
		徳風	13	0.9	5	0.4	2	0.1	3	0.2	2	0.1	
		上記以外の県内	2	0.1	2	0.1	1	0.1	2	0.1	2	0.1	
		県外	45	3.3	27	1.9	29	2.1	38	2.8	44	3.2	
		小計	67	4.8	72	5.2	98	7.2	102	7.6	107	7.8	
	高等専門学校	鈴鹿高専	10	0.7	9	0.6	3	0.2	1	0.1	2	0.1	
鳥羽商船		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
近大高専		32	2.3	57	4.1	53	3.9	31	2.3	47	3.4		
県外		2	0.1	2	0.1	5	0.4	2	0.1	4	0.3		
小計		44	3.2	68	4.9	61	4.5	34	2.5	53	3.9		
特別支援学校	伊賀つばさ学園	12	0.9	4	0.3	9	0.7	7	0.5	17	1.2		
	上記以外の県内	0	0.0	1	0.1	1	0.1	0	0.0	0	0.0		
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	小計	12	0.9	5	0.4	10	0.7	7	0.5	17	1.2		
その他	専修・各種・職訓	4	0.3	1	0.1	3	0.2	2	0.1	1	0.1		
	就職	6	0.4	2	0.1	6	0.4	3	0.2	2	0.1		
	上記以外 ※３	11	0.8	13	0.9	13	1.0	16	1.2	8	0.6		
	小計	21	1.5	16	1.1	22	1.6	21	1.6	11	0.8		
公立中学校卒業生数			1,383	100.0	1,393	100.0	1,362	100.0	1,350	100.0	1,372	100.0	

令和７年３月卒業生

※１ 津工業１８、津東１０、亀山８、津商業６、久居農林５、松阪工業５、白子４、松阪４、昴学園３、松阪商業２、四日市１、四日市工業１、久居１、白山１、水産１ の計７０人

※２ 皇學館７、海星４、メリノール１、セントヨゼフ１ の計１３人

※３ 進学待機、求職中など

資料 9 ①

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況(北部・南部)【令和7年3月卒】

区分	進路先	伊賀北部		伊賀南部		伊賀地域合計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
伊賀地域 県立 全日制	上野	147	24.0	85	11.2	232	16.9
	伊賀白鳳	170	27.8	52	6.8	222	16.2
	あけぼの学園	26	4.2	26	3.4	52	3.8
	名張	37	6.0	147	19.3	184	13.4
	名張青峰	69	11.3	162	21.3	231	16.8
	小計	449	73.4	472	62.1	921	67.1
他地域 県立 全日制	津	6	1.0	33	4.3	39	2.8
	津西	3	0.5	21	2.8	24	1.7
	上記以外	21	3.4	49	6.4	70	5.1
	小計	30	4.9	103	13.6	133	9.7
県内 私立 全日制	鈴鹿	7	1.1	0	0.0	7	0.5
	高田	15	2.5	4	0.5	19	1.4
	三重	1	0.2	7	0.9	8	0.6
	桜丘	2	0.3	2	0.3	4	0.3
	上記以外	7	1.1	6	0.8	13	0.9
	小計	32	5.2	19	2.5	51	3.7
県外 全日制	国公立	4	0.7	1	0.1	5	0.4
	私立	15	2.5	31	4.1	46	3.4
	小計	19	3.1	32	4.2	51	3.7
定時制	上野	8	1.3	0	0.0	8	0.6
	名張	1	0.2	10	1.3	11	0.8
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	山辺高校山添分校	3	0.5	5	0.7	8	0.6
	上記以外の県外	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	小計	12	2.0	16	2.1	28	2.0
通信制	県立(北星・松阪)	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	英心桔梗が丘校	23	3.8	30	3.9	53	3.9
	英心伊勢本校	0	0.0	5	0.7	5	0.4
	徳風	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	上記以外の県内	0	0.0	2	0.3	2	0.1
	県外	15	2.5	29	3.8	44	3.2
	小計	40	6.5	67	8.8	107	7.8
高等専門 学校	鈴鹿高専	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	近大高専	11	1.8	36	4.7	47	3.4
	県外	0	0.0	4	0.5	4	0.3
	小計	13	2.1	40	5.3	53	3.9
特別支援 学校	伊賀つばさ学園	8	1.3	9	1.2	17	1.2
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	8	1.3	9	1.2	17	1.2
その他	専修・各種・職訓	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	就職	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	上記以外	6	1.0	2	0.3	8	0.6
	小計	9	1.5	2	0.3	11	0.8
公立中学校卒業者数		612	100.0	760	100.0	1,372	100.0

※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

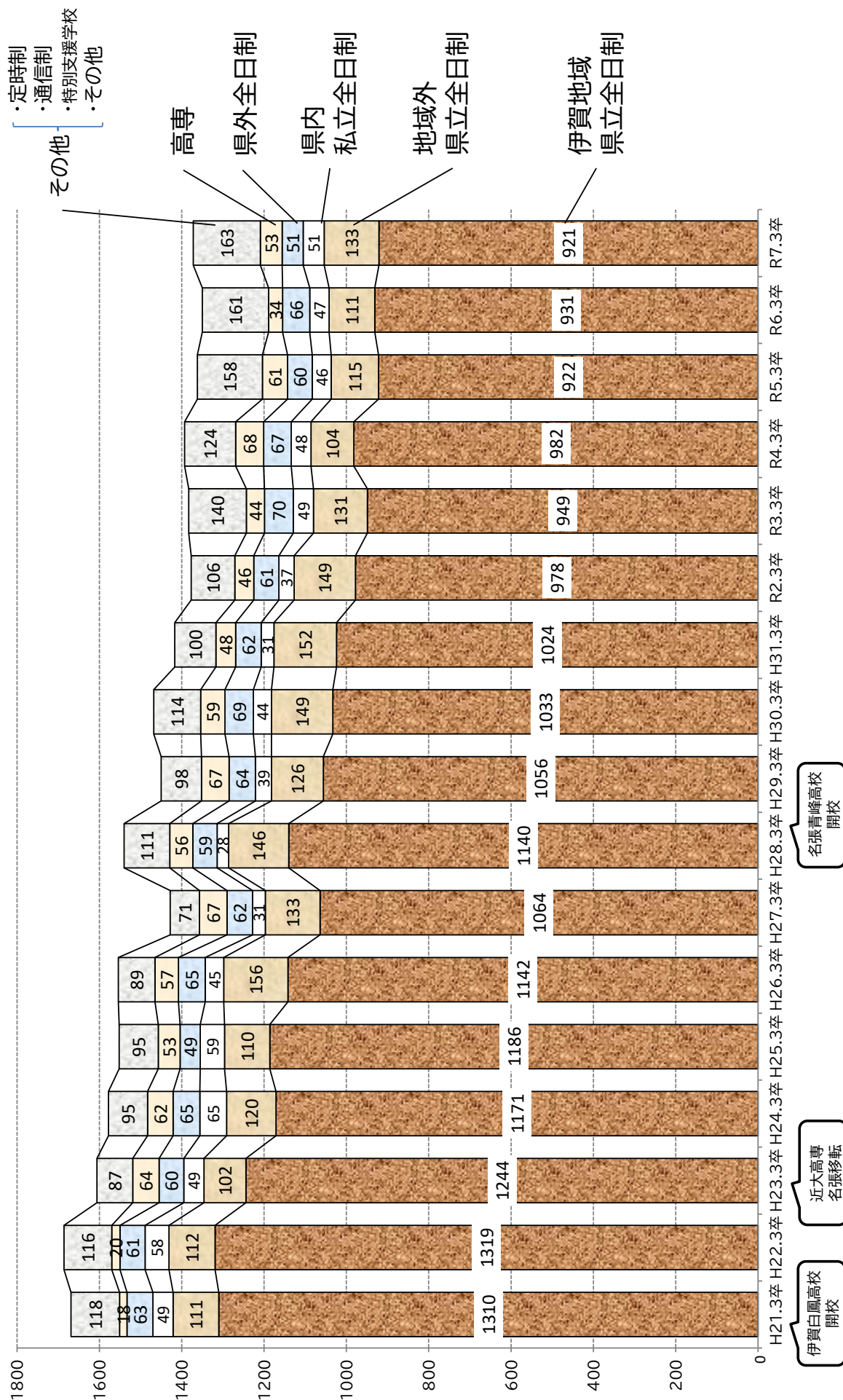
伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況(北部・南部)【令和6年3月卒】

区分	進路先	伊賀北部		伊賀南部		伊賀地域合計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
伊賀地域 県立 全日制	上野	154	23.5	80	11.5	234	17.3
	伊賀白鳳	198	30.2	32	4.6	230	17.0
	あけぼの学園	45	6.9	21	3.0	66	4.9
	名張	42	6.4	142	20.5	184	13.6
	名張青峰	54	8.2	163	23.5	217	16.1
	小計	493	75.2	438	63.1	931	69.0
他地域 県立 全日制	津	4	0.6	31	4.5	35	2.6
	津西	7	1.1	21	3.0	28	2.1
	上記以外	17	2.6	31	4.5	48	3.6
	小計	28	4.3	83	12.0	111	8.2
県内 私立 全日制	鈴鹿	9	1.4	2	0.3	11	0.8
	高田	10	1.5	1	0.1	11	0.8
	三重	3	0.5	8	1.2	11	0.8
	桜丘	2	0.3	1	0.1	3	0.2
	上記以外	3	0.5	8	1.2	11	0.8
	小計	27	4.1	20	2.9	47	3.5
県外 全日制	国公立	4	0.6	4	0.6	8	0.6
	私立	25	3.8	33	4.8	58	4.3
	小計	29	4.4	37	5.3	66	4.9
定時制	上野	13	2.0	0	0.0	13	1.0
	名張	0	0.0	10	1.4	10	0.7
	上記以外の県内	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	山辺高校山添分校	4	0.6	3	0.4	7	0.5
	上記以外の県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	17	2.6	14	2.0	31	2.3
通信制	県立(北星・松阪)	2	0.3	1	0.1	3	0.2
	英心桔梗が丘校	14	2.1	30	4.3	44	3.3
	英心伊勢本校	3	0.5	9	1.3	12	0.9
	徳風	3	0.5	0	0.0	3	0.2
	上記以外の県内	1	0.2	1	0.1	2	0.1
	県外	8	1.2	30	4.3	38	2.8
	小計	31	4.7	71	10.2	102	7.6
高等専門 学校	鈴鹿高専	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	近大高専	16	2.4	15	2.2	31	2.3
	県外	0	0.0	2	0.3	2	0.1
	小計	17	2.6	17	2.4	34	2.5
特別支援 学校	伊賀つばさ学園	3	0.5	4	0.6	7	0.5
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	3	0.5	4	0.6	7	0.5
その他	専修・各種・職訓	1	0.2	1	0.1	2	0.1
	就職	0	0.0	3	0.4	3	0.2
	上記以外	10	1.5	6	0.9	16	1.2
	小計	11	1.7	10	1.4	21	1.6
公立中学校卒業者数		656	100.0	694	100.0	1,350	100.0

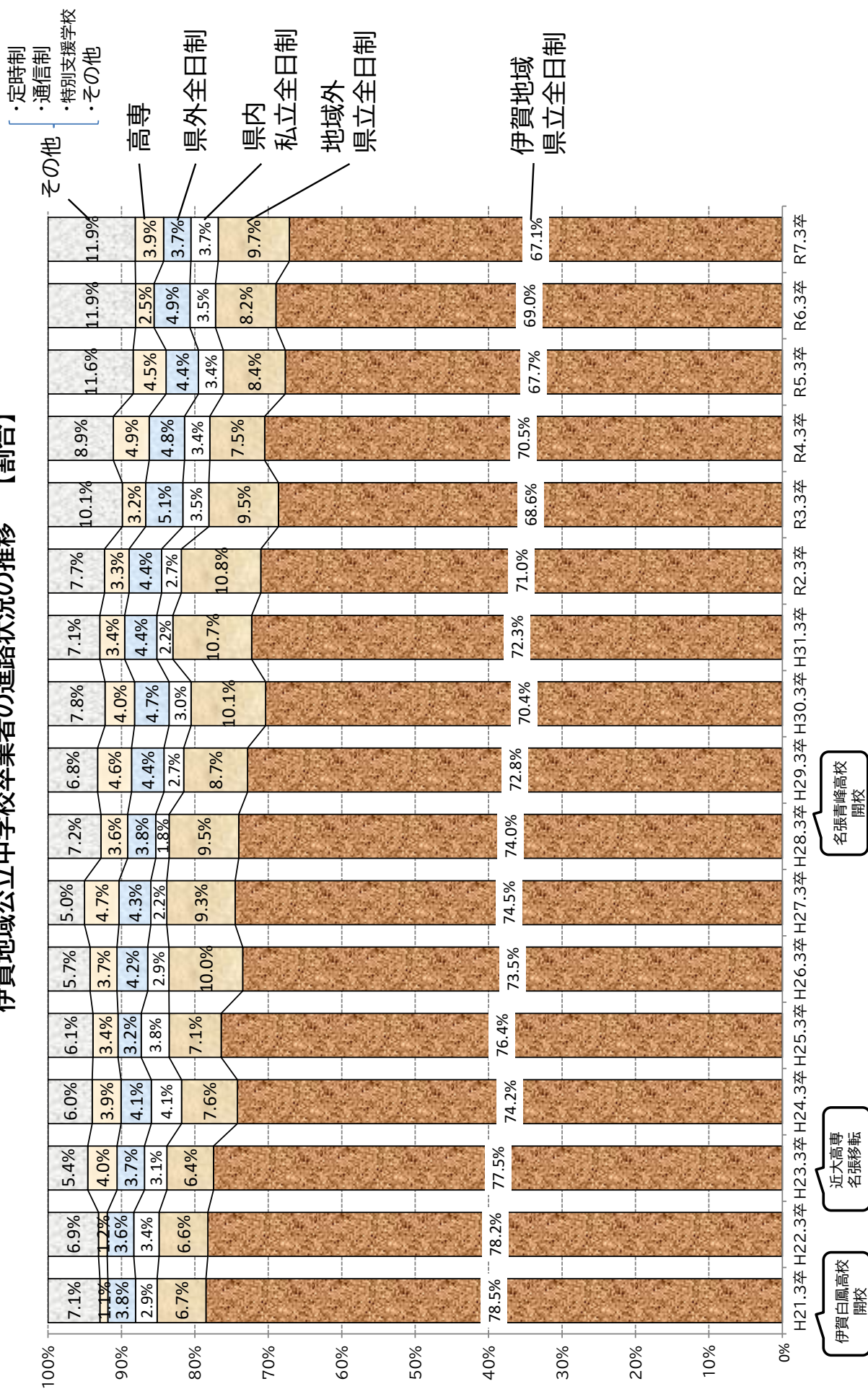
※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況の推移【人数】



伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況の推移【割合】



令和7年度の協議について

1 これまでの協議 ※詳細は「令和5年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ」を参照

- 「令和元・2年度の協議のまとめ（令和3年3月）」においては、当面の間、現在の5校を維持することが望ましいとしたうえで、今後中学校卒業者数がさらに減少することから、現在の5校の再編を含めて検討し、その結果を令和7年度頃までに明らかにする必要がありますとしました。

また、多様な学習ニーズにこたえる新しいタイプの学校の設置に関しては、どのようなニーズがあるかを的確にとらえるとともに、昼間定時制課程の併置を含めた定時制課程のあり方や、通信制課程の機能を取り入れた学習形態について検討する必要がありますとしました。

- 令和4年度以降の協議会では、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」（以下、「計画」という。）に基づき、15年先の当地域の中学校卒業者数の減少の状況もふまえ、伊賀地域の県立学校における学びと配置について協議を進めているところです。
- 「令和5年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（令和6年2月）」（以下「令和5年度のまとめ」という。）においては、令和7～8年度に想定される学級減に対しては、検討の方向性に基づき5校の維持が望ましいとしたうえで、令和10年度以降の学級減に対しては、現在の5校の再編を含めて検討し、その結果を令和7年度までに、当協議会の考え方としてとりまとめるとしました。
- 令和6年度は、「令和5年度のまとめ」に基づいて、15年先を見据えながら、令和10年度以降の総学級数の段階的な減少に対する具体的な対応の方向性について協議を進めました。また、地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果もふまえて検討を行い、これまでの協議を「令和7年度まとめに向けた方向性」として整理しました。

2 令和7年度の協議の進め方

現計画の計画期間が令和4年度から8年度までとなっていることから、三重県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議において、次期計画の策定に向けた審議が始まっています。こうした動きも注視しながら、引き続き、15年先を見据えた高校の学びと配置のあり方について協議を進めます。

「令和5年度のまとめ」において、令和10年度以降の学級減に対しては、現在の5校の再編を含めて検討し、その結果を今年度までに示すこととされていることから、「令和7年度まとめに向けた方向性」に基づき、中学生が高校を選択する時期もふまえ、今年の12月までに当協議会としての方向性をとりまとめることとします。

3 今後の協議会開催スケジュール（令和7年度）

（1）第1回協議会（令和7年8月5日）

- ・伊賀地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・令和10年度に想定される学級減への対応について①

（2）第2回協議会（令和7年9～10月頃）

- ・令和10年度に想定される学級減への対応について②
- ・「令和7年度のまとめ（案）」の提示
- ・次期計画の策定に向けた情報共有と意見交流

（3）第3回協議会（令和7年11月頃）

- ・「令和7年度のまとめ」策定
- ・次期計画の策定に向けた情報共有と意見交流

3 今後の協議会開催スケジュール（令和7年度）

（1）第1回協議会（令和7年8月5日）

- ・伊賀地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・令和10年度に想定される学級減への対応について①

（2）第2回協議会（令和7年9～10月頃）

- ・令和10年度に想定される学級減への対応について②
- ・「令和7年度のまとめ（案）」の提示
- ・次期計画の策定に向けた情報共有と意見交流

（3）第3回協議会（令和7年11月頃）

- ・「令和7年度のまとめ」策定
- ・次期計画の策定に向けた情報共有と意見交流

伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）【市別】

資料12①

令和7年5月1日 教育政策課調べ

中学校卒業年月		R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3	R 16.3
伊賀市	卒業生数	801	779	768	771	724	735	709	661	636	620	584	558	519
	前年度対比		-22	-11	3	-47	11	-26	-48	-25	-16	-36	-26	-39
	R7.3対比					-47	-36	-62	-110	-135	-151	-187	-213	-252
	①公立小中在籍者数	(739)	(720)	(710)	(692)	661	683	654	658	631	615	577	553	519
	②私立小中在籍者数	(62)	(59)	(58)	(79)	52	37	35						
名張市	卒業生数	654	642	640	680	644	642	639	612	583	566	578	506	481
	前年度対比		-12	-2	40	-36	-2	-3	-27	-29	-17	12	-72	-25
	R7.3対比					-36	-38	-41	-68	-97	-114	-102	-174	-199
	③公立小中在籍者数					642	642	637	643	611	595	605	533	506
	卒業生数	1,455	1,421	1,408	1,451	1,368	1,377	1,348	1,273	1,219	1,186	1,162	1,064	1,000
伊賀地域計	前年度対比		-34	-13	43	-83	9	-29	-75	-54	-33	-24	-98	-64
	R7.3対比					-83	-74	-103	-178	-232	-265	-289	-387	-451
	①②③小中在籍者数					1,355	1,362	1,326	1,301	1,242	1,210	1,182	1,086	1,025

伊賀地域県立高校の1学年学級数	27	26	26	26	24									
() 内は入学定員の計	(1,040)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(920)									

(参考)

県内合計		R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3	R 16.3
	卒業生数	16,244	16,055	15,891	15,718	15,517	15,261	14,807	14,345	14,044	14,030	13,399	12,753	12,408
	前年度対比		-189	-164	-173	-201	-256	-454	-462	-301	-14	-631	-646	-345
	R7.3対比				0	-201	-457	-911	-1,373	-1,674	-1,688	-2,319	-2,965	-3,310
	小中在籍者数					15,489	15,238	14,788	14,463	14,153	14,149	13,506	12,861	12,524

伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）【北部・南部別】

資料 1 2 ②

令和7年5月1日 教育政策課調べ

中学校卒業年月		R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 現中 3	R 9.3 現中 2	R 10.3 現中 1	R 11.3 現小 6	R 12.3 現小 5	R 13.3 現小 4	R 14.3 現小 3	R 15.3 現小 2	R 16.3 現小 1
伊賀 北部	卒業生数	738	718	714	691	660	670	647	600	583	566	529	501	482
	前年度対比		-20	-4	-23	-31	10	-23	-47	-17	-17	-37	-28	-19
	R7.3対比					-31	-21	-44	-91	-108	-125	-162	-190	-209
	①公立小中在籍者数	(676)	(659)	(656)	(612)	597	618	593	594	577	559	520	496	479
	②私立小中在籍者数	(62)	(59)	(58)	(79)	52	37	35						
伊賀 南部	卒業生数	717	703	694	760	708	708	701	673	636	621	634	563	519
	前年度対比		-14	-9	66	-52	0	-7	-28	-37	-15	13	-71	-44
	R7.3対比					-52	-52	-59	-87	-124	-139	-126	-197	-241
	③公立小中在籍者数					706	707	700	707	665	651	662	590	546
伊賀 地域 計	卒業生数	1,455	1,421	1,408	1,451	1,368	1,378	1,348	1,273	1,219	1,187	1,163	1,064	1,001
	前年度対比		-34	-13	43	-83	10	-30	-75	-54	-32	-24	-99	-63
	R7.3対比				0	-83	-73	-103	-178	-232	-264	-288	-387	-450
	①②③小中在籍者数					1,355	1,362	1,328	1,301	1,242	1,210	1,182	1,086	1,025

伊賀地域県立高校の1学年学級数	27	26	26	26	24									
() 内は入学定員の計	(1,040)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(920)									

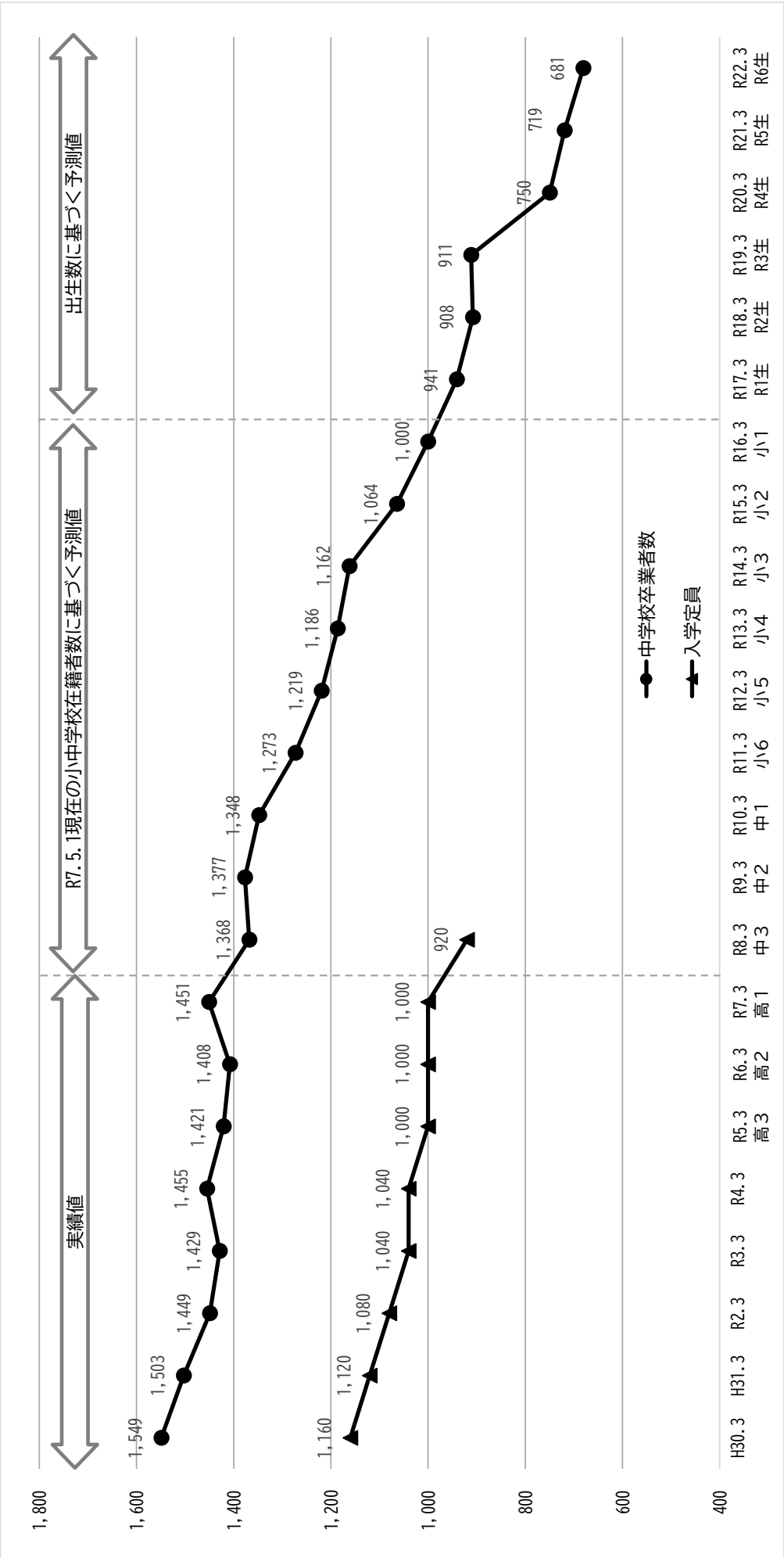
※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

(参考)

県内 合計	卒業生数		R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 現中 3	R 9.3 現中 2	R 10.3 現中 1	R 11.3 現小 6	R 12.3 現小 5	R 13.3 現小 4	R 14.3 現小 3	R 15.3 現小 2	R 16.3 現小 1
	前年度対比		16,244	16,055	15,891	15,718	15,517	15,261	14,807	14,345	14,044	14,030	13,399	12,753	12,408
	R7.3対比			-189	-164	-173	-201	-256	-454	-462	-301	-14	-631	-646	-345
	小中在籍者数					0	-201	-457	-911	-1,373	-1,674	-1,688	-2,319	-2,965	-3,310
							15,489	15,238	14,788	14,463	14,153	14,149	13,506	12,861	12,524

伊賀地域の中学校卒業者と県立高等学校入学定員（全日制）の推移

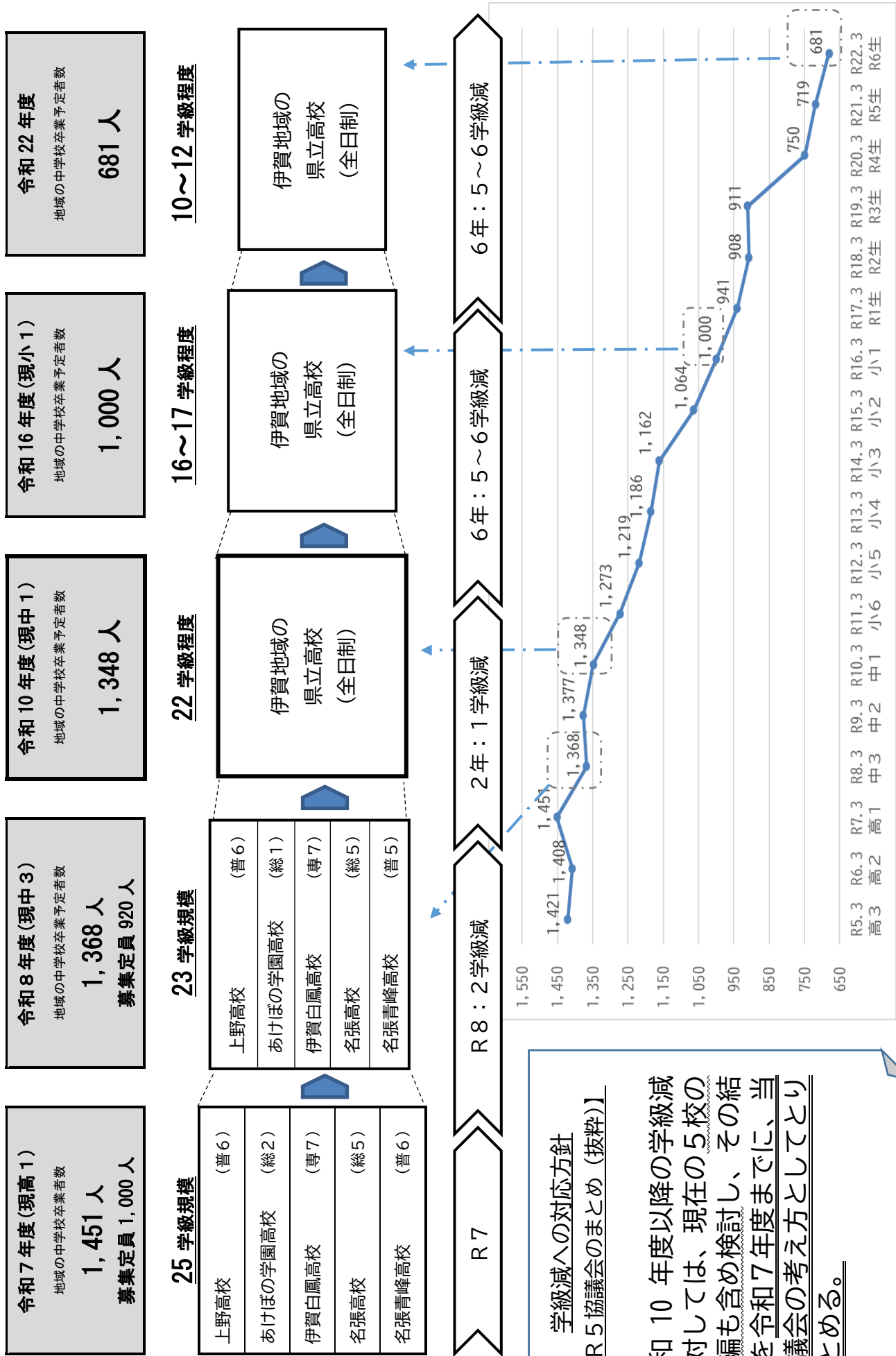


【伊賀地域の出生数】

	H28年度生 現小3	H29年度生 現小2	H30年度生 現小1	R元年度生 5～6歳	R2年度生 4～5歳	R3年度生 3～4歳	R4年度生 2～3歳	R5年度生 1～2歳	R6年度生 0～1歳
伊賀市	643	582	569	533	534	527	434	419	391
名張市	584	522	509	462	427	437	359	342	329
合計	1,227	1,104	1,078	995	961	964	793	761	720

令和22年度までの伊賀地域の県立高等学校（全日制）の総学級数と当協議会の協議について

資料 14



全日制高等学校の設置学科と学級数の推移（伊賀市）

資料15①

普通科改革による学科改編

普通5 ⇒ 学際探究4

理数1 ⇒ 理数2

現在の普通科系以外の
字ひのバリエーション

4系列→2系列

美容服飾系列
・美容服飾系列
・製菓調理系列
・情報教養系列
・健康福祉系列

7学科11コース

生物資源科
・フードサイエンスコース
・パティシエコース
・機械科
・ロボティクスコース
・電気工学科
・建築・インテリアコース
・デザインコース
・経営科
・介護福祉コース
・生活福祉コース

H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	学際探究	学際探究
普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	学際探究	学際探究
普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	学際探究	学際探究
普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	学際探究	学際探究
普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	理数	理数
普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	理数	理数

総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合

生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン
生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン
生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン
生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン
生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン
生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン	生物資源	フード	機械	電子機械	工芸デ	経営	ヒューマン

【R3～】
35人・30人学級を導入

【R4～】▲2コース
7学科13コース⇒7学科11コース

3校を統合して
伊賀白鳳高校開校

【学級数】

普通科	9	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	—	—
普通科系	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
理数科	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総合学科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
農業科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
工業科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
商業科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
家庭科	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福祉科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

35人×2学級
35人×3学級
30人×1学級
35人×1学級

全日制高等学校の設置学科と学級数の推移（名張市）

資料 15②

現在の普通科系以外の
字びのバリエーション

4系列9専攻

- 文理アドバンス系列
・人文専攻
・看護医療専攻
総合ビジネス系列
・ビジネス専攻
・情報処理専攻
健康スポーツ系列
・健康スポーツ専攻
表現デザイン系列
・美術専攻
・音楽専攻
・ファッション専攻
・映像専攻

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

総合
総合
総合
総合
総合

【6系列】
人文
科学
スポーツ
商業
生活デザイン
芸術デザイン

【4系列】
文理アドバンス
総合ビジネス
健康スポーツ
表現デザイン

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

普通
普通
普通
普通
普通

2校を統合して
名張青峰高校開校

【学級数】

	11	11	10	9	9	8	6	7	7	6	5	5	5	5	4
普通科	11	11	11	9	9	8	6	7	7	6	5	5	5	5	4
普通科系	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
英語科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
文理探究	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総合学科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
専門学科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
工業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて（令和8年度）

資料16

伊賀地域 全日 制 課 程		学校名	大学科	募集定員 (R8)	1	2	3	4	5	6
伊賀地域 全日 制 課 程	県立	上野高校	普通科	240	学際探究科	学際探究科	学際探究科	学際探究科	理数科	理数科
	県立	あけぼの学園高校	総合学科	40	美容系列 生活教養系列		2 系列/40人		7 学科11 コース/240人	
	県立	伊賀白鳳高校	専門学科	240	機械科 (35) ・機械科	電子機械科 (35) ・ロボット ・電気工学	建築デザイン科 (35) ・建築・インテリア ・デザイン	生物資源科 (35) ・生物資源科	フードシステム科 (35) ・フードサービス ・パティシエ	経営科 (30) ・経営科
	県立	名張高校	総合学科	200	文理アドバンス系列 ・人文専攻 ・看護医療専攻		総合ビジネス系列 ・ビジネス専攻 ・情報処理専攻		表現デザイン系列 ・美術専攻 ・音楽専攻 ・ファッション専攻 ・映像専攻	
	県立	名張青峰高校	普通科	200	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
	私立	桜丘高校	普通科	155	普通科 (155)					普通科系/440人

※大学科の「普通科」には、普通系専門学科を含む

○全日制
※ 私立 愛農学園農業高校
○定時制課程
県立 上野高校
県立 名張高校

○通信制課程
私立 英心高校桔梗が丘校
※ 私立 神村学園高等部伊賀
○高等専門学校
私立 近畿大学工業高等専門学校

農業科 25 人
普通科 40 人
普通科 40 人
普通科：探究コース、集中スクーリングコース (R8～)
普通科：選択登校型、全日型 (両型合わせた年間募集定員)

機械システム、電気電子、制御情報、都市環境 (3年次よりコース選択)

(※県外扱い)

伊賀地域の専門学科と総合学科の学び（令和8年度）

専門学科の学び

総合学科の学び

【伊賀白鳳】		
学科	学科名	コース名
工業	機械	機械
	電子機械	ロボット
		電気工学
	デザイン	建築・インテリア デザイン
農業	生物資源	生物資源
	フードシステム	フードサイエンス
		パティシエ
商業	経営	経営
福祉	ヒューマンサービス	生活福祉
		介護福祉

【あけぼの学園】		【名張】	
系列名	主な開設科目	系列名	専攻
生活教養	セラミックアート 造形加工	表現 デザイン	美術
	製菓製パン 調理	総合 ビジネス	ビジネス
	ビジネス文書 情報処理		情報処理
	スポーツ 生涯スポーツ		健康 スポーツ
	美容	ビューティー (ベーシック・アドバンス・プロ フェッショナル・スキルアップ)	表現 デザイン
文理 アドバンス	音楽		
	映像		
	人文		
		看護医療	

伊賀地域の県立高校に関するアンケート結果について

1 生徒を対象としたアンケート結果

(1) 高校選びで重視すること(問6)

「通学のしやすさ・距離」(49.8%)、「学校の雰囲気・イメージ」(48.0%)に続いて、「文化祭や体育祭などの学校行事が充実している」(46.0%)、「学びたい学科やコースがある」(42.7%)、「入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている」(35.3%)の順となっている。

(2) 高校に期待する教育(問8)

高等学校には、「自ら学び続ける力が身につく教育」(54.0%)、「基本的な知識が身につく教育」(46.2%)をはじめ、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育」(44.2%)、「社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育」(43.2%)を期待している。

(3) 希望する学級数について(問10)

多い順に「2～3学級」(41.8%)、「4～6学級」(37.7%)、「1学級」(16.7%)、続いて「7学級以上」(3.9%)となっている。

(4) 通学時間について(問11)

多い順に「60 分以内まで」(43.4%)、「30 分以内まで」(29.3%)、「90 分以内まで」(19.1%)、「120 分以内まで」(5.0%)、「121 分以上」(3.2%)となっている。

(5) 将来生活する場所について(問12)

「まだ決まっていない、わからない」(39.9%)が最も多く、続いて、「県外」(26.8%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻りたい」(13.0%)、「地元(現在住んでいる市町)」(9.6%)となっている。

2 保護者を対象としたアンケート結果

(1)高校選びで重視すること(問6)

「学びたい学科やコースがあること」(71.2%)に続いて、「通学のしやすさ・距離」(68.1%)、「自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること」(63.3%)に続いて、「確かな学力を身につける授業が充実していること」(42.8%)となっている。

(2)高校に期待する教育(問8)

「自ら学び続ける力が身につく教育」(59.5%)をはじめ、「社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育」(58.8%)、「多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育」(52.9%)、「自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育」(51.8%)を期待している。

(3)学級の規模について(問10)

多い順に「4～6学級」(51.7%)、「2～3学級」(32.5%)、「1学級」(11.7%)、続いて「7学級以上」(4.1%)となっている。

(4)通学時間について(問11)

多い順に「60 分以内まで」(59.4%)、「30 分以内まで」(25.3%)、「90 分以内まで」(12.8%)、「120 分以内まで」(2.3%)、「121 分以上」(0.3%)となっている。

(5)将来生活する場所について(問12)

「本人の希望次第」(67.0%)が最も多く、続いて、「地元」(8.7%)、「特に考えはない」(8.3%)、「県外」と「一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい」(6.1%)となっている。

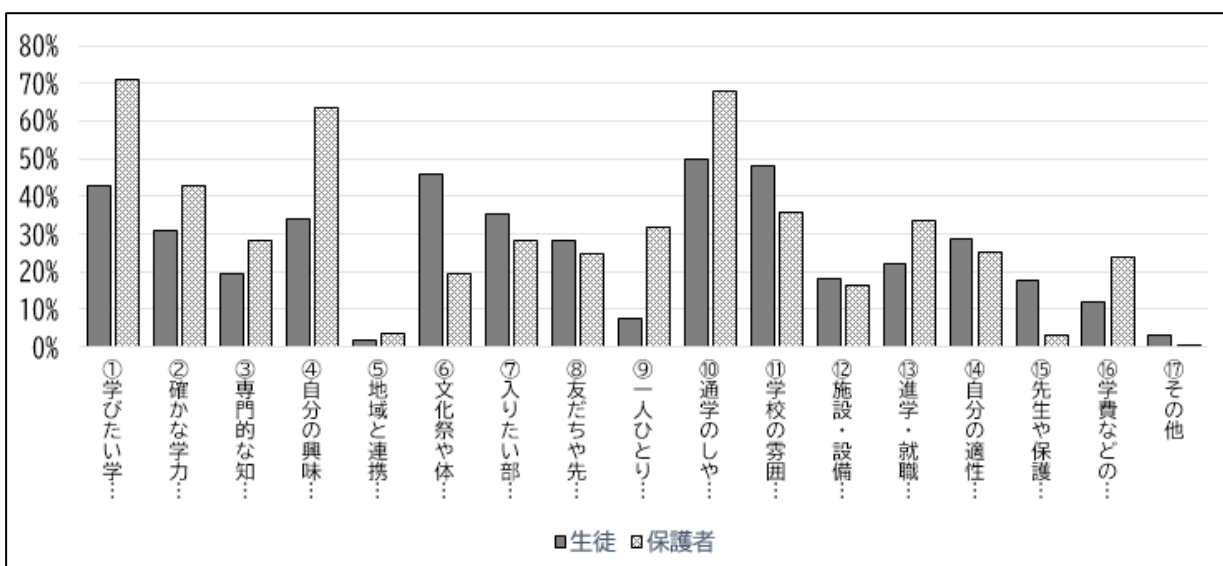
(6)今後の伊賀地域の県立高校のあり方について(問13)

今後の伊賀地域の高校については、「一定の統合は避けられない」(61.6%)が最も多く、続いて「統合は避けるべき」(33.6%)、「積極的に統合を進めるべき」(4.8%)となっている。

3 生徒と保護者の回答の比較

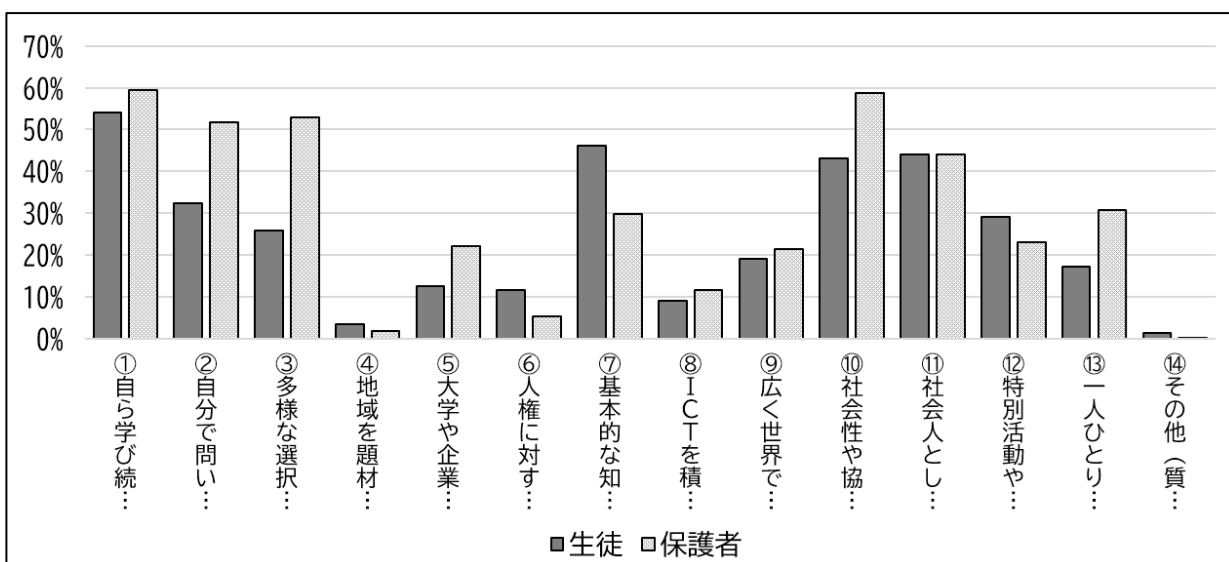
(1) 高校選びに重視すること(回答は6つ以内、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目 \ 対象	生徒 (1,062 人)		保護者 (1,096 人)	
① 学びたい学科やコースがある	④ 453	42.7%	① 780	71.2%
② 確かな学力を身につける授業が充実している	⑦ 327	30.8%	④ 469	42.8%
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できる	⑪ 206	19.4%	⑧ 311	28.4%
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる	⑥ 361	34.0%	③ 694	63.3%
⑤ 地域と連携した活動が充実している	⑰ 21	2.0%	⑮ 41	3.7%
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している	③ 489	46.0%	⑬ 211	19.3%
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている	⑤ 375	35.3%	⑨ 310	28.3%
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会い	⑨ 302	28.4%	⑪ 272	24.8%
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる	⑮ 82	7.7%	⑦ 349	31.8%
⑩ 通学のしやすさ・距離	① 529	49.8%	② 746	68.1%
⑪ 学校の雰囲気・イメージ	② 510	48.0%	⑤ 390	35.6%
⑫ 施設・設備の充実	⑫ 191	18.0%	⑭ 180	16.4%
⑬ 進学・就職の実績	⑩ 235	22.1%	⑥ 369	33.7%
⑭ 自分の適性や能力	⑧ 303	28.5%	⑩ 275	25.1%
⑮ 先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見	⑬ 187	17.6%	⑯ 36	3.3%
⑯ 学費などの経費負担	⑭ 126	11.9%	⑫ 259	23.6%
⑰ その他(質問7の自由記述へ)	⑯ 35	3.3%	⑰ 6	0.5%



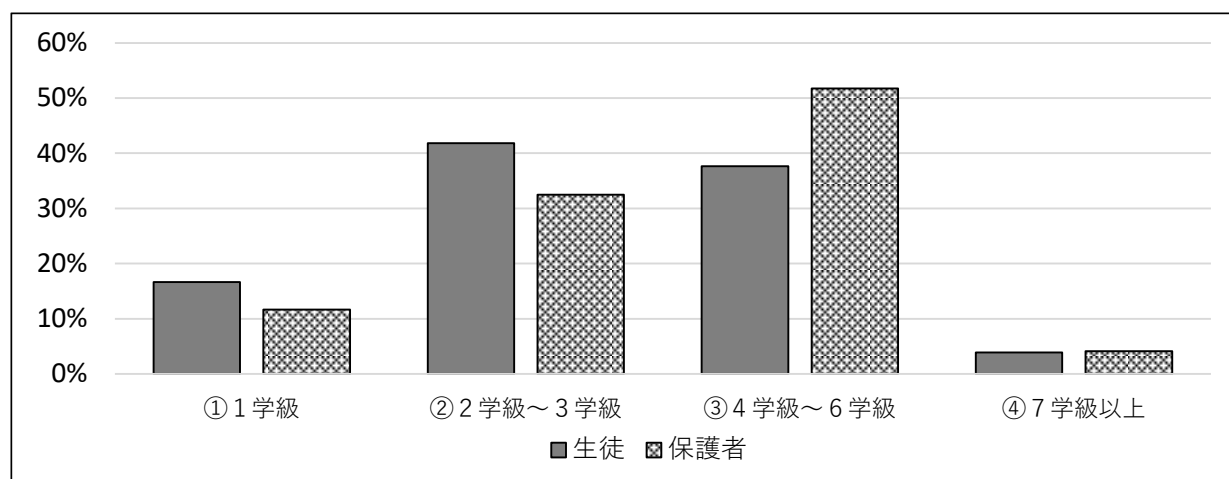
(2) 高校に期待する教育(回答は5つ以内、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目	対象	生徒 (1,062 人)		保護者 (1,096 人)	
① 自ら学び続ける力が身につく教育		① 573	54.0%	① 652	59.5%
② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育		⑤ 343	32.3%	④ 568	51.8%
③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育		⑦ 275	25.9%	③ 580	52.9%
④ 地域を題材として学ぶ教育		⑬ 38	3.6%	⑬ 21	1.9%
⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育		⑩ 135	12.7%	⑨ 243	22.2%
⑥ 人権に対する意識が高まる教育		⑪ 125	11.8%	⑫ 60	5.5%
⑦ 基本的な知識が身につく教育		② 491	46.2%	⑦ 328	29.9%
⑧ ICTを積極的に活用する教育		⑫ 98	9.2%	⑪ 128	11.7%
⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育		⑧ 203	19.1%	⑩ 236	21.5%
⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育		④ 459	43.2%	② 644	58.8%
⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育		③ 469	44.2%	⑤ 483	44.1%
⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育		⑥ 310	29.2%	⑧ 253	23.1%
⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育		⑨ 183	17.2%	⑥ 337	30.7%
⑭ その他(質問9の自由記述へ)		⑭ 15	1.4%	⑭ 3	0.3%



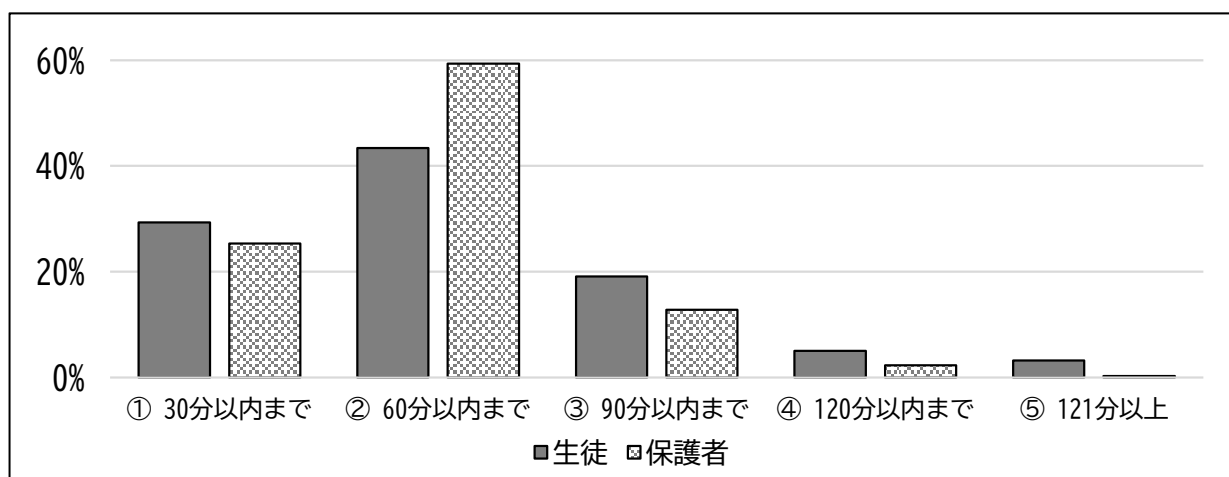
(3) 1学年あたりの学級規模(回答は1つ、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目 \ 対象	生徒 (1,062 人)		保護者 (1,096 人)	
① 1学級(40 人)	③ 177	16.7%	③ 128	11.7%
② 2学級～3学級(80～120 人)	① 444	41.8%	② 356	32.5%
③ 4学級～6学級(160～240 人)	② 400	37.7%	① 567	51.7%
④ 7学級以上(280 人～)	④ 41	3.9%	④ 45	4.1%



(4) 進学したい高校までの通学時間(回答は1つ、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目 \ 対象	生徒 (1,062 人)		保護者 (1,095 人)	
① 30分以内まで	② 311	29.3%	② 277	25.3%
② 60分以内まで	① 461	43.4%	① 650	59.4%
③ 90分以内まで	③ 203	19.1%	③ 140	12.8%
④ 120分以内まで	④ 53	5.0%	④ 25	2.3%
⑤ 121分以上	⑤ 34	3.2%	⑤ 3	0.3%



4 生徒と保護者の回答の比較より

(1)「高校選びで重視すること(17 個の選択肢から6つ以内で選択)」について

(ア)生徒、保護者の両者で各上位6つに選択された項目のうち、共通するもの

- ①学びたい学科やコースがある
生徒4位 453 人(42.7%)、保護者1位 780 人(71.2%)
- ④自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる
生徒6位 361 人(34.0%)、保護者3位 694 人(63.3%)
- ⑩通学のしやすさ・距離
生徒1位 529 人(49.8%)、保護者2位 746 人(68.1%)
- ⑪学校の雰囲気・イメージ
生徒2位 510 人(48.0%)、保護者5位 390 人(35.6%)

(イ)生徒、保護者のどちらか一方で上位6つに選択された項目

- ②確かな学力を身につける授業が充実している
生徒7位 327 人(30.8%)、保護者4位 469 人(42.8%)
- ⑥文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
生徒3位 489 人(46.0%)、保護者13位 211 人(19.3%)
- ⑦入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている
生徒5位 375 人(35.3%)、保護者9位 310 人(28.3%)
- ⑬進学・就職の実績
生徒10位 235 人(22.1%)、保護者6位 369 人(33.7%)

〈 参 考 〉

生徒、保護者で下位2つ(その他を除く)に選択された項目

- ⑤地域と連携した活動が充実している
生徒17位 21 人(2.0%)、保護者15位 41 人(3.7%)
- ⑨一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる
生徒15位 82 人(7.7%)、保護者7位 349 人(31.8%)
- ⑮先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見
生徒13位 187 人(17.6%)、保護者16位 36 人(3.3%)

(2)「高校に期待する教育(14 個の選択肢から5つ以内で選択)」について

(ア)生徒、保護者の両者で各上位5つに選択された項目のうち、共通するもの

- ①自ら学び続ける力が身につく教育
生徒1位 573 人(54.0%)、保護者1位 652 人(59.5%)
- ②自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
生徒5位 343 人(32.3%)、保護者4位 568 人(51.8%)
- ⑩社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
生徒4位 459 人(43.2%)、保護者2位 644 人(58.8%)
- ⑪社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
生徒3位 469 人(44.2%)、保護者5位 483 人(44.1%)

(イ)生徒、保護者のどちらか一方で上位5つに選択された項目

③多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育

生徒7位 275 人(25.9%)、保護者3位 580 人(52.9%)

⑦基本的な知識が身につく教育

生徒2位 491 人(46.2%)、保護者7位 328 人(29.9%)

〈 参 考 〉

生徒、保護者で下位2つ(その他を除く)に選択された項目

④地域を題材として学ぶ教育

生徒13位 38 人(3.6%)、保護者13位 21 人(1.9%)

⑥人権に対する意識が高まる教育

生徒11位 125 人(11.8%)、保護者12位 60 人(5.5%)

⑧ICTを積極的に活用する教育

生徒12位 98 人(9.2%)、保護者11位 128 人(11.7%)

(3)「1学年あたりの学級規模(1つ選択)」について

生徒は「2学級～3学級」(41.8%)と最も多く、次いで「4学級～6学級」(37.7%)、「1学級」(16.7%)。保護者は「4学級～6学級」(51.7%)と最も多く、次いで「2学級～3学級」(32.5%)、「1学級」(11.7%)となっている。

(4)「進学したい高校までの通学時間(1つ選択)」について

生徒、保護者とも「60 分以内まで」(生徒 43.4%、保護者 59.4%)、「30 分以内まで」(生徒 29.3%、保護者 25.3%)と続き、さらに「90 分以内まで」(生徒 19.1%、保護者 12.8%)、「120 分以内まで」(生徒 5.0%、保護者 2.3%)となっている。

学校規模と教育環境について

1 教員数

(1) 教職員定数

各学校に配置される教職員定数の標準は、法律により、入学定員（÷学級数）に応じて定められています。

全日制普通科の場合

1 学年 あたりの 学級数	1 学級	2 学級	3 学級	4 学級	5 学級	6 学級	7 学級	8 学級
教員数 (人)	8	15	23	29	35	43	48	52
差		7	8	6	6	8	5	4

※ 校長、教頭、養護教諭、実習助手、事務職員を除く

※ 上記以外に学科による加算や加配教員、非常勤講師等の配置があります

※ あくまで標準であり、すべての学校がこの人数に一致するわけではありません

(2) 学級数別の各教科担当教員の配置シミュレーション（全日制普通科）

1 学年 あたりの 学級数	1 学級	2 学級	3 学級	4 学級	5 学級	6 学級	7 学級	8 学級
計	8	15	23	29	35	43	48	52
国語	1	2	4	5	5	7	7	8
数学	2	3	4	5	6	7	8	9
英語	2	3	4	5	6	7	8	9
社会	1	2	3	4	5	6	6	7
理科	1	2	3	4	5	6	7	8
保体	1	2	3	3	4	5	6	6
芸術	0	1	1	1	2	3	3	3
家庭	0	0	1	1	1	1	1	1
情報	0	0	0	1	1	1	1	1

※ 1～7 学級の教科別教員数については、県内の 8 学級の高校の教科別教員数を参考に算出

※ 国語・数学・英語は学年あたりの配置人数が 1、2、3 人で色分け

※ 社会は地歴科と公民科から構成しており、地歴科では日本史、世界史、地理を専門とする教員を 5 人、公民科では 1 人を配置できる 6 人と、地歴 3 人、公民 1 人を配置できる 4 人で色分け

※ 理科は物理、化学、生物を専門とする教員が 2 人ずつ配置できる 6 人と、1 人ずつの 3 人で色分け

※ 保健体育は学年あたりの人数が 2 人、1 人で色分け

※ 芸術は音楽、美術、書道の教員が 1 人ずつ配置できる 3 人で色分け

※ この表はシミュレーションであり、実際は学校ごとに教育課程などが異なるため、教員数の合計、教科別の人数ともこのとおりとは限りません。

2 部活動

R4学校規模別部活動設置状況（男子）マネージャー含む

第1学年学級数					1	2	3	4	5	6	7	8
学校数					2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合	登録 人数								
1	硬式野球	53	98.1%	1,393	2	7	2	8	12	7	8	7
2	バスケットボール	47	87.0%	918	1	6	2	8	10	5	8	7
3	陸上競技	46	85.2%	824	2	4	2	7	10	6	8	7
4	卓球	42	77.8%	682	1	4	2	5	10	5	8	7
5	バドミントン	41	75.9%	1,130	0	6	0	6	11	4	7	7
6	サッカー	39	72.2%	1,515	0	2	2	5	10	5	8	7
7	テニス	34	63.0%	513	0	2	2	4	8	4	8	6
8	バレーボール	33	61.1%	627	1	2	0	5	7	4	7	7
9	ソフトテニス	31	57.4%	518	1	4	0	6	5	4	5	6
10	剣道	27	50.0%	177	0	0	1	4	5	5	5	7
11	ハンドボール	20	37.0%	472	0	0	0	1	4	4	5	6
12	柔道	20	37.0%	146	1	1	0	2	8	1	3	4
13	弓道	19	35.2%	348	0	0	1	4	5	3	5	1
14	山岳（ワンド・フォーゲル）	12	22.2%	148	0	0	0	2	1	2	3	4
15	ラグビー	10	18.5%	207	0	0	0	1	3	1	2	3
16	水泳	10	18.5%	87	0	0	0	3	1	0	2	4
17	ダンス	9	16.7%	39	0	0	0	0	4	1	2	2
18	レスリング	7	13.0%	53	0	1	0	1	4	0	1	0
19	軟式野球	6	11.1%	104	0	0	0	0	1	1	2	2
20												
設置部活動の種類（～No.19）					7	11	8	18	19	17	19	18
設置部活動の全種類					7	15	9	22	28	23	26	22

R4学校規模別部活動設置状況（文化部）

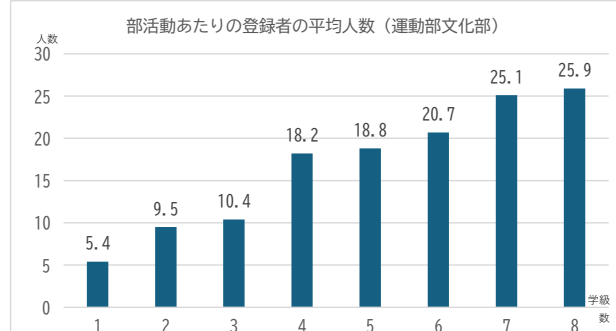
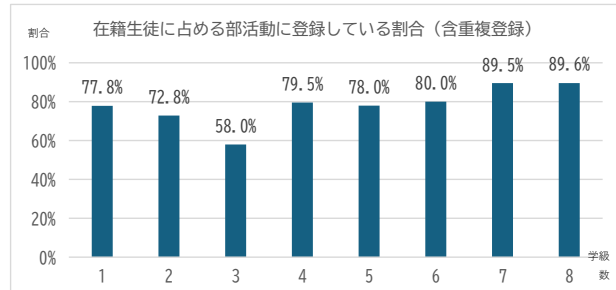
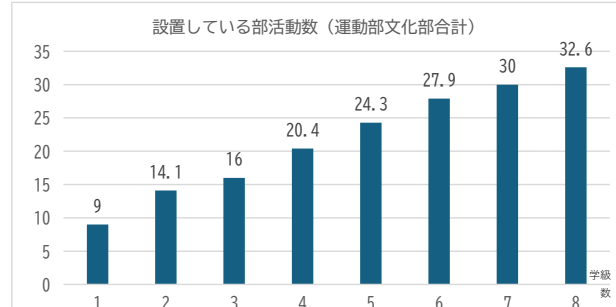
第1学年学級数					1	2	3	4	5	6	7	8
学校数					2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合	登録 人数								
1	美術	47	87.0%	634	0	5	2	8	10	7	8	7
2	吹奏楽	44	81.5%	1,347	1	2	1	8	11	6	8	7
3	茶道	38	70.4%	536	1	4	2	5	8	5	7	6
4	書道	36	66.7%	351	0	2	2	5	9	5	6	7
5	放送	31	57.4%	308	0	1	0	4	9	5	7	5
6	写真	24	44.4%	586	0	2	0	4	6	6	4	2
7	家庭	19	35.2%	310	2	3	2	3	3	2	2	2
8	演劇	19	35.2%	214	0	0	0	2	5	3	4	5
9	ボランティア	13	24.1%	205	0	3	1	1	3	3	1	1
10	華道	13	24.1%	136	0	1	1	2	4	3	2	0
11	コンピュータ	11	20.4%	147	1	1	0	1	3	2	2	1
12	文芸	11	20.4%	106	0	1	0	0	0	2	3	5
13	アニメ・漫画	10	18.5%	197	0	1	0	0	3	2	3	1
14	人権サークル	10	18.5%	44	0	0	1	2	3	2	2	0
15	調理	9	16.7%	236	0	0	0	1	2	1	2	3
16	英語	9	16.7%	101	0	2	0	1	2	0	1	3
17	合唱	9	16.7%	64	0	0	0	1	2	1	4	1
18	新聞	8	14.8%	67	0	0	0	0	3	2	2	1
19	邦楽	7	13.0%	91	0	1	0	0	1	0	0	5
20	自然科学	7	13.0%	47	0	0	0	1	1	0	2	3
21												
設置部活動の種類（～No.20）					4	14	8	16	19	17	19	18
設置部活動の全種類					4	19	9	30	37	33	32	31

R4学校規模別部活動設置状況（女子）マネージャー含む

第1学年学級数					1	2	3	4	5	6	7	8
学校数					2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合	登録 人数								
1	陸上競技	41	75.9%	486	1	3	1	6	9	6	8	7
2	バドミントン	39	72.2%	913	0	5	0	7	10	4	6	7
3	バスケットボール	39	72.2%	575	2	2	0	5	10	6	7	7
4	卓球	37	68.5%	334	0	1	2	5	8	6	8	7
5	バレーボール	34	63.0%	533	1	1	0	5	7	6	7	7
6	テニス	29	53.7%	316	0	1	1	3	5	6	7	6
7	ソフトテニス	28	51.9%	279	1	3	0	5	5	5	4	5
8	剣道	25	46.3%	135	0	0	1	2	4	5	6	7
9	弓道	17	31.5%	334	0	0	1	3	5	2	5	1
10	ハンドボール	15	27.8%	255	0	0	0	0	3	3	4	5
11	ダンス	12	22.2%	403	0	0	0	0	5	1	3	3
12	ソフトボール	12	22.2%	188	0	0	0	2	3	3	2	2
13	柔道	12	22.2%	38	0	0	0	1	4	2	1	4
14	水泳	10	18.5%	54	0	0	0	3	0	1	2	4
15	硬式野球	9	16.7%	24	0	1	0	1	3	3	0	1
16	サッカー	7	13.0%	93	0	1	0	0	2	0	1	3
17	体操	5	9.3%	66	0	0	0	1	1	0	1	2
18	空手道	5	9.3%	57	0	0	0	0	0	1	2	2
19	山岳（ワンド・フォーゲル）	5	9.3%	31	0	0	0	1	1	0	0	3
20												
設置部活動の種類（～No.19）					4	9	5	15	17	16	17	19
設置部活動の全種類					4	11	6	17	25	21	25	21

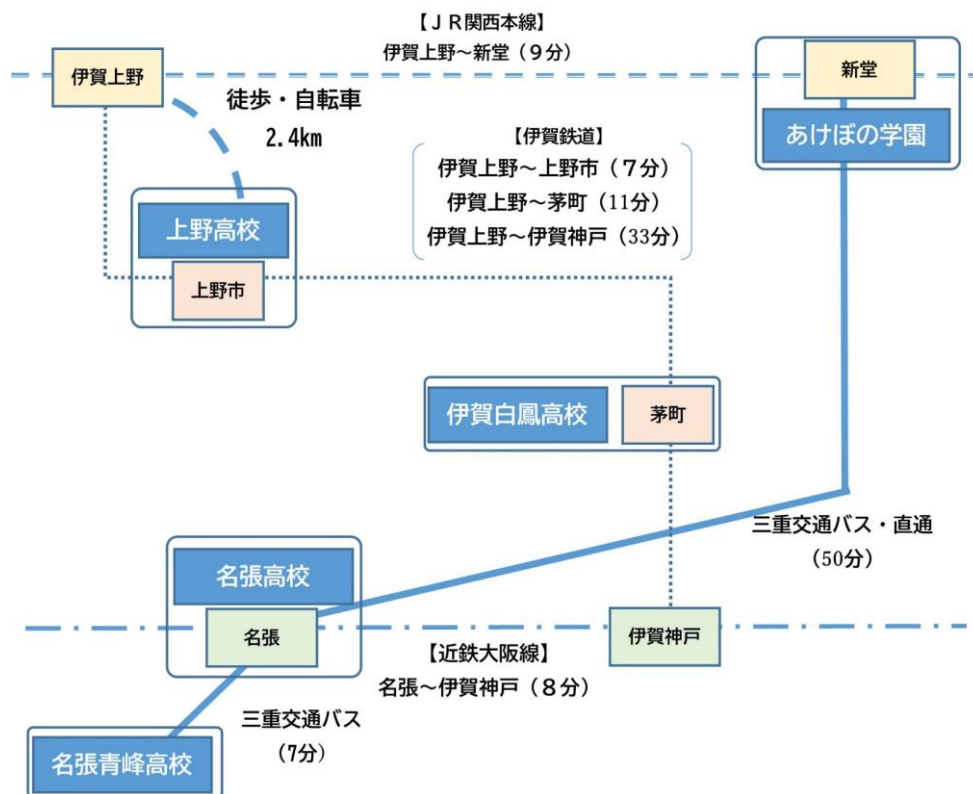
○1学年あたりの学級数別の部活動の状況

（令和4年度三重県学校体育・部活動実態調査より）



伊賀地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等

(1) 通学における主な路線図



(2) 通学方法別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

学校名		上野	あけぼの学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰	合計
通学方法							
徒歩のみ		84	2	116	54	58	314
		11.7%	0.9%	16.9%	9.3%	8.2%	10.8%
自転車のみ		152	13	283	101	41	590
		21.3%	6.1%	41.1%	17.5%	5.8%	20.4%
単車のみ		0	0	2	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%
JRのみ		0	30	12	0	0	42
		0.0%	14.2%	1.7%	0.0%	0.0%	1.4%
私鉄のみ		193	0	68	158	20	439
		27.0%	0.0%	9.9%	27.3%	2.8%	15.2%
バスのみ		58	98	33	125	164	478
		8.1%	46.2%	4.8%	21.6%	23.3%	16.5%
JRと	私鉄	40	1	63	16	7	127
		5.6%	0.5%	9.2%	2.8%	1.0%	4.4%
	バス	0	4	7	0	1	12
		0.0%	1.9%	1.0%	0.0%	0.1%	0.4%
	自転車	2	17	4	0	0	23
		0.3%	8.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.8%
私鉄と	バス	47	5	10	20	330	412
		6.6%	2.4%	1.5%	3.5%	46.9%	14.2%
	自転車	29	2	9	39	29	108
		4.1%	0.9%	1.3%	6.7%	4.1%	3.7%
バスと	自転車	9	7	9	10	20	55
		1.3%	3.3%	1.3%	1.7%	2.8%	1.9%
その他 （車送迎、3つ以上の交通機関等）		101	33	72	55	34	295
		14.1%	15.6%	10.5%	9.5%	4.8%	10.2%
合計		715	212	688	578	704	2,897

(3) 通学費用別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

費用 \ 学校名	上野	あけぼの学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰	合計	積み上げ
不要	313 43.8%	39 18.4%	445 64.7%	187 32.4%	141 20.0%	1,125 38.8%	1,125 38.8%
3,000円以内	25 3.5%	4 1.9%	17 2.5%	69 11.9%	56 8.0%	171 5.9%	1,296 44.7%
5,000円以内	47 6.6%	8 3.8%	17 2.5%	113 19.6%	94 13.4%	279 9.6%	1,575 54.4%
7,000円以内	63 8.8%	20 9.4%	23 3.3%	87 15.1%	107 15.2%	300 10.4%	1,875 64.7%
9,000円以内	61 8.5%	31 14.6%	59 8.6%	29 5.0%	63 8.9%	243 8.4%	2,118 73.1%
11,000円以内	78 10.9%	21 9.9%	58 8.4%	51 8.8%	109 15.5%	317 10.9%	2,435 84.1%
13,000円以内	54 7.6%	26 12.3%	31 4.5%	21 3.6%	53 7.5%	185 6.4%	2,620 90.4%
15,000円以内	21 2.9%	42 19.8%	10 1.5%	10 1.7%	38 5.4%	121 4.2%	2,741 94.6%
15,001円以上	53 7.4%	21 9.9%	28 4.1%	11 1.9%	43 6.1%	156 5.4%	2,897 100.0%
合計	715	212	688	578	704	2,897	2,897

※通学費用は1か月あたりの費用

(4) 通学時間別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

時間 \ 学校名	上野	あけぼの学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰	合計	積み上げ
15分以内	157 22.0%	25 11.8%	168 24.4%	116 20.1%	89 12.6%	555 19.2%	555 19.2%
30分以内	224 31.3%	25 11.8%	255 37.1%	189 32.7%	172 24.4%	865 29.9%	1,420 49.0%
45分以内	113 15.8%	27 12.7%	97 14.1%	139 24.0%	161 22.9%	537 18.5%	1,957 67.6%
60分以内	163 22.8%	65 30.7%	104 15.1%	92 15.9%	150 21.3%	574 19.8%	2,531 87.4%
90分以内	51 7.1%	57 26.9%	40 5.8%	40 6.9%	104 14.8%	292 10.1%	2,823 97.4%
120分以内	5 0.7%	13 6.1%	18 2.6%	1 0.2%	25 3.6%	62 2.1%	2,885 99.6%
121分以上	2 0.3%	0 0.0%	6 0.9%	1 0.2%	3 0.4%	12 0.4%	2,897 100.0%
合計	715	212	688	578	704	2,897	2,897

※通学時間は片道の所要時間

(5) 自宅外通学生徒数

R7. 5. 1 学校基本調査より

種別 \ 学校名	上野	あけぼの学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰	合計
下宿	0	0	0	10	3	13
寄宿舎	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	10	3	13

今後の伊賀地域における県立高等学校の学びと配置のあり方について

これまでの協議の内容やアンケート結果をふまえ、以下のように整理しました。

1 令和7年度まとめに向けた方向性（令和6年度第3回協議会資料より）

- 少子化の中にあっても、当地域にどのような高校が必要なのか、未来に向けて前向きに発想する。
- 令和10年度以降の学級減への対応については、15年先を見据えて方向性を取りまとめる。
- 他地域へ進学する生徒が一定数あることから、地域の子どもたちが地域で学べるよう、普通科、専門学科、総合学科の学科・コース・系列など多様な学びの選択肢をできるだけ維持する。
- 大学進学ニーズに応える普通科高校が地域に必要であり、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置のためには、少なくとも1学年あたり6学級あることが望ましい。
- 部活動の活性化や学校行事の充実のためには、一定の学校規模があることが望ましい。
- 不登校を経験した子どもたち、外国につながる子どもたち、特別な支援を必要とする子どもたちなど、多様な子どもたちが安心して通える教育環境を実現する。
- 伊賀北部と南部に分けるだけではなく、隣接する地域の状況もふまえて伊賀地域全体で考える。
- 学びや機能などのソフト面と施設設備や立地などのハード面は分けて検討する。
- 通学方法や通学時間、交通費など通学に係る状況を考慮する。通学時間については、概ね90分以内、出来れば60分以内となることが望ましい。
- 当地域の私立通信制高校の動向を注視しつつ、公立高校として多様なニーズにどのように応えていくのかを、全日制課程だけでなく定時制や通信制課程を含めて検討する。

2 1学年あたり10～12学級となることが想定される15年先の学びと配置のイメージ

- 伊賀地域の高校の学びと配置のあり方は、北部と南部に分けるのではなく、地域全体で考える。
- 「1 令和7年度まとめに向けた方向性」をふまえると、現在の5校は、大学進学ニーズに応える観点と多様な学びの選択肢を提供する観点を重視しながら2校へ集約される。
- 当地域内の通学環境を考慮すると、北部に1校、南部に1校を交通の便がよい場所に配置する。（新築・建替えも検討）

3 15年先を見据えた令和10年度に想定される1学級減への具体的対応（案）

- 大学進学ニーズに応えるため、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置ができる1学年あたり6学級の普通科高校を、地域に1校は維持する。
- 専門性の高い学びを含む多様な学びの選択肢をできる限り維持しながら、専門学科や総合学科の系列の学びなどの集約を図る。
- 学校行事、部活動など、子どもたちが協働的に活動できるよう、可能な限り一定の学校規模を維持する。
- 多様な子どもたちが安心して学べる環境のあり方については、引き続き協議する。
- こうしたことから、令和10年度にあげばの学園高校を募集停止とし、5校を4校に再編して学びを整理統合する。